

委託事業実施内容報告書

平成25年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 【地域日本語教育実践プログラム(A)】

受託団体名 特定非営利活動法人 フィリピンナガイサ

1. 事業名称 バヤニハン日本語教室～みんなで地域をつくっていこう～

2. 事業の目的

日系フィリピン人が生活の中で必要不可欠となる日本語と生活の情報、知識を日本の公的機関や企業、日本人ボランティアの協力を得ながら教授し、フィリピン人と日本人の相互理解を深め、日系フィリピン人の自立を促進する。

3. 事業内容の概要

1. 静岡県西部地区に住むフィリピン人に対する日本語教室の設置・運営

「生活者としての外国人も地域の一員である」という考えのもと、学習者はもとより、同じ地域に住む日本人に「おしゃべりボランティア」として参加を呼びかける。地域ぐるみの教室活動を心がけ、教室で築かれたコミュニケーションを地域に還元していく。本教室への参加者募集は、開催地である協働センター、近くの自治会や民生委員等と連携をとり、行う。教室の外でも学習者が日本語を使って生活ができることを目標に掲げ、日本語に重点を置いた教室授業と臨場感あふれる練習、さらには生活情報の提供としてセミナーや体験学習を織り交ぜる。また、当教室の基本方針として、「日ごろからたがいに顔のわかる関係」を大切にすることから、教室開催期間に限らない関係が築かれるよう、配慮する。この教室が相互理解を促進する場となるよう、当地唯一の授業を計画している。

2. バイリンガル指導者の育成(日本人の地域日本語教育コーディネーターとの協働)

本事業で培ったノウハウを活かし、地域の実情に沿ったカリキュラムを展開する。日本人の地域日本語教育コーディネーターとバイリンガル指導者がチームを組み、教室運営を行うことで、互いの得意分野を活かす。バイリンガル指導者は、日本人のコーディネーターと組み、多様な教授法を用いた授業を展開し、実践していく。いっぽう日本人のコーディネーターは、バイリンガル指導者を介して、学習者のニーズを的確に把握できることで、学習者の心情に寄り添い、短期間で効率のよい学びを提供し、教室の企画・運営に活かすことができる。互いが意見交換を活発に行い、自己研鑽することにより、地域に求められるオリジナルの日本語教室をつくりあげていくことに努める。

4. 運営委員会の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成25年7月3日 9:30～11:00	1.5時間	第一伊藤ビル3階 会議室	清ルミ、野々山勇、村松正利、山屋宏、澤田直子、山下文彦、石塚良明、村田和彦、松本義一	今年度の事業内容(おもに「人材育成事業」のカリキュラムについて)	地域に根をおろした日本語教室カリキュラムと人材育成事業内容の検討
2	平成25年12月18日 9:30～11:00	1.5時間	第一伊藤ビル4階 会議室	清ルミ、野々山勇、村松正利、山屋宏、澤田直子、山下文彦、石塚良明、村田和彦、松本義一	中間報告(おもに「日本語教室事業」について)	浜松市防災ほっとめーるに対して危機管理局に改善を求めること/オリジナル防災マップ作成への評価/本事業が地域に還元される内容であることへの評価
3	平成26年3月11日 9:30～11:00	1.5時間	第一伊藤ビル4階 会議室	清ルミ、野々山勇、村松正利、山屋宏、澤田直子、山下文彦、石塚良明、村田和彦、松本義一	今年度の事業報告(おもに「人材育成事業」「地域住民との連携」について)	

5. 日本語教室の実施

(1) 講座名称 バヤニハン日本語教室～みんなで地域をつくっていこう～東区クラス

(2) 目的・目標

日系フィリピン人が生活の中で必要不可欠となる日本語と生活の情報、知識を日本の公的機関や企業、日本人ボランティアの協力を得ながら教授し、フィリピン人と日本人の相互理解を深め、日系フィリピン人の自立を促進する

(3) 対象者 フィリピン人 日本語学習初級レベル者

(4) 開催時間数(回数) 30時間 (全13回)

(5) 使用した教材・リソース 指導者作成オリジナル教材

(6) 受講者の総数 40 人

(出身・国籍別内訳)

フィリピン国40人

(7) 日本語教室の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名	補助者
1	平成25年6月2日13:30～15:30	2時間	長上協働センター	20名	フィリピン人20名	自己紹介	①自己紹介でよく使われる言葉や、マナーを覚える。 ②自己紹介の活動で、日本人の知り合いをつくる。 ③カタカナで自分の名前を書けるようになる。	中村グレイス	高井マリ
2	平成25年6月16日13:30～15:30	2時間	長上協働センター	16名	フィリピン人16名	浜松市の新しいゴミ制度	浜松市の新しいゴミ制度について情報を知る。 ①ゴミの出し方について学ぶ。 ②ゴミカレンダーを使って漢字の曜日を読めるようになること。 ③地域のゴミ当番の方と簡単な挨拶ができるようになること。	中村グレイス	高井マリ
3	平成25年6月30日13:30～15:30	2時間	長上協働センター	15名	フィリピン人15名	買物(値段、割引、ポイントカード、レシートの見方)	①レシートの解読 ②数字(円)の読み方 ③お店の人の言う金額を聞きとり、お金を払う練習	中村グレイス	高井マリ
4	平成25年7月7日13:30～15:30	2時間	長上協働センター	16名	フィリピン人16名	浜松の葬祭とお盆の習慣	①浜松近辺の葬祭の習慣とマナーを学ぶ。 ②遺族にお悔やみの言葉を述べる。	中村グレイス	高井マリ
5	平成25年7月21日13:30～16:30	3時間	長上協働センター	12名	フィリピン人12名	学校の年間行事、夏休みの宿題とは、学校からの緊急連絡メール解読について	①浜松市内小中学校の行事や様子を知る。 ②学校でよく使われる用語を学ぶ。	中村グレイス/澤田直子	高井マリ

6	平成25年8月4日13:30～15:30	2時間	長上協働センター	14名	フィリピン人14名	レストラン(メニューの見方、注文する)	①レストランのメニューを読んで、注文ができるようになる。	中村グレイス	高井マリ
7	平成25年9月1日13:30～16:30	3時間	長上協働センター	13名	フィリピン人13名	交通ルール、生活安全	①自転車の正しい乗り方を覚える ②自転車の防犯登録について知る ③標識について学ぶ ④緊急時の110番通報練習	中村グレイス/村松正利	高井マリ
8	平成25年9月15日13:30～15:30	2時間	長上協働センター	12名	フィリピン人12名	電話のマナー	①病院を予約する ②予約日時の言い方を学ぶ	中村グレイス	高井マリ
9	平成25年9月29日13:30～15:30	2時間	長上協働センター	10名	フィリピン人10名	病院、健康に関すること	①賞状に関する言葉を覚える。 ②医師の「症状はいつからですか」の問いに答えることができるようになる。	中村グレイス	高井マリ
10	平成25年10月6日13:30～15:30	2時間	長上協働センター	5名	フィリピン人5名	復習	①漢字で自宅住所を書けるようになる。②日本語復習かるたゲームを通してボランティアさんと交流する	中村グレイス	高井マリ
11	平成25年10月20日13:30～16:30	3時間	長上協働センター	14名	フィリピン人14名	税金	①税金に関する用語を学ぶ。 ②確定申告の還付について仕組みを知る ③税金について日ごろから疑問に思っていたことを講師に質問し、解決する。	中村グレイス/澤谷智志	高井マリ
12	平成25年11月3日13:30～15:30	2時間	長上協働センター	8名	フィリピン人8名	協働センター周辺を歩く	①近隣地区の危ない箇所を知る。 ②災害時の避難場所を知る。	平原エテル/村松正利、山本茂之	高井マリ
13	平成25年11月17日13:30～16:30	3時間	長上協働センター	12名	フィリピン人12名	防災マップをつくる、修了式	①自分の言葉で(「やさしい日本語」「タガログ語」織り交ぜて)オリジナル防災マップをつくる。 ②携帯用緊急連絡先カードを作成する。	平原エテル	高井マリ

(8) 受講者の募集方法

HP…当団体、公益財団法人浜松国際交流協会

一斉メール配信…浜松学院大学日本語教員養成プログラム修了生宛、U-toc多文化共生担当者連絡会議を通して市内各国際交流団体宛、NPO法人Nポケット宛、学習者・スタッフ間によるFACE BOOKクチコミ

紙配布で広報協力…浜松市内全協働センター、浜松市(国際課、市民協働課、生涯学習課)、公益財団法人浜松国際交流協会、社会福祉協議会、個人(過去協力してくれたボランティア、当団体に所属するボランティア、運営委員、自治連合会、市内小中学校の教諭・保護者・支援者、フィリピン・ブラジルレストラン、フィリピン人が多く通う教会等

(9) 特徴的な授業風景(2~3回分)

●第2回「浜松市の新しいゴミ収集制度」

目標: ①ゴミの出し方について、ルールやマナーを覚えること。

②ゴミカレンダーを使って、漢字で書かれている曜日を読むことができるようになること。

③地域のゴミ当番の方と簡単な挨拶を交わせるようになること。(ねぎらいの「おつかれさます」)

▼「ゴミカレンダー」の活用

…漢字で書かれている曜日を読む練習に最適な教材でした。

▼「どうすればいいですか」

…ボランティアさんに「地域のゴミ当番役」をしてもらい、分別方法を尋ねる練習しました。



●第5回「浜松市の小中学校について」

ゲスト講師:澤田直子氏(浜松市教育委員会学校教育指導課教育相談グループ)

- 内容:① 日本の学校行事
② 日本の学校生活でよく使われる言葉
③ 保護者として心がけたいこと
④ 夏休みの宿題はどんなものがあるか
⑤ 計画的で安全な夏休みのために

《質疑応答より》

- ・お便りが読めない。どうしたらいいか。
⇒紙の色を変えるとかマークを付けるなど工夫をしている学校もあるので、「読めない」「困っている」というサインを先生に発信してほしい。
- ・生活帳の保護者コメントが書けない。
⇒英語でもタガログ語でもいい。(できれば英語) 親が「見た」「関心を持っている」というのが大事なことである。
- ・緊急時の連絡メールの内容がわからない。
⇒「何かあった」というのを知るために、まずは登録をしてほしい。メール受信後、読めなければ電話をして「分からない」と言えば、校内で対応できるかもしれない。けれども、この件に関しては今後の課題である。
- ・いじめがあるときは、どこへ連絡したらいいのか。
⇒お互いに原因がある場合もあるので、まずは子どもの話を冷静に話をよく聞くこと。その上で担任の先生に相談する。場合によっては教育委員会に相談することもできる。
- ・幼稚園に入りたいけれど、どうしたらいいか。
⇒公立の幼稚園なら、まず区役所へ相談すること。
- ・高校生の息子が部活動で夜9時半に帰宅するが、これは普通なのか。
⇒部活をしている高校生ならば仕方がない。ただし11時を過ぎるようだと補導されるので注意。

《授業後、保護者感想》

- ・聞きたかったことが質問できてよかった。
- ・子どもの夏休みの宿題について、具体的に内容を教えてもらった。(生活の記録、絵日記等)
- ・日本語教室にまた参加したい(今年の教室に、レギュラーでは参加していない保護者より)

《スタッフ、ボランティア感想》

- ・積極的に質問がでていたのでよかった。(スタッフ)
- ・夏休みの計画表をさっそく家族で作っていた参加者がいたので良かった。(スタッフ)
- ・子どもの担任の先生の名前、出席番号など、実は知らなかった保護者もいたようだった。けれども今回で問題意識を持てたので良かった。(スタッフ)
- ・「子供に負けないように親もしっかり勉強を」という先生の励ましのお言葉のおかげで、「また日本語教室に参加する」と言ってくれた保護者がいたのがうれしかった。(スタッフ)
- ・身近な話題を取り上げ、関係した会話の練習もしているのがよかった(ボランティア)

▼年間行事や学校の制度について、図を使って学びました。

▼夏休みに入ったばかりだったので、親子での参加が目立ちました。



●第6回「レストラン」

▼授業後、実際にレストランへ行って注文に挑戦しました。



●第11回「税金(仕組みと所得に関わる内容を中心に)」

ゲスト講師: 税理士法人黎明 澤谷智志氏

目標: ①年末調整、確定申告で使われる税金の用語を覚えること。

②確定申告の還付について知ること。

③税金について、わからないことを講師に聞くこと。

内容:

講師から「税金は『取られるもの』ではなく『預けるもの』という意識を持って欲しい」というお話があった。私たちは警察、消防、医療はじめ、道路、下水道の整備など、暮らしやすい環境をさまざまな公共サービスから得ている。それらの財源はすべて税金によるもの。

その前提を共有した上で、個人の給料にかかってくる所得税の話を中心に進められた。日本の税金システムは優れていて、個人個人の事情を考慮してくれる「所得控除」が13種類ある。

そのうち、フィリピンの人が知っていると便利な控除には特に説明をつけていただいた。(バイリンガル指導者や通訳補助あり)

「雑損控除」…盗難、横領の被害に遭ったり、災害(台風等)で家が欠損したりした場合等の控除

「医療費控除」…世帯全員で年間10万円以上、医療費を支払った場合等の控除

「社会保険控除」…給与から控除された社会保険料や、支払った国民健康保険料・国民年金保険料にかかる控除

「配偶者控除」…配偶者の給与収入が年間103万円以下であることを申告すれば、38万円が控除される

「配偶者特別控除」…配偶者の給与収入が103万円超141万円未満の場合、申告すれば一定の金額が控除される

「扶養控除」…「児童手当」創設後、16歳未満の子どもは対象外になった。フィリピンの子どもを扶養するために送金した場合は、「送金した銀行の控え」を取っておくこと。

「基礎控除」…生活をする上で必要な経費を38万円とみなして、誰もが所得から38万円控除される。

成果:

・講師がわかりやすい言葉でお話をしてくださり、さらに難しい用語ではバイリンガル指導者と通訳のフォローにより、生徒はふだん難しいと感じていた日本の税金の仕組みと内容について、親しみをもって学ぶことができた。結果、税金を払うことに対しても理解が得られた。授業後、これまで市民税を払っていなかった学習者が納付するに至った。

・フィリピンの家族や親戚に送金している場合、確定申告をすれば扶養控除の還付を受けられることがわかった。そのためには送金した銀行控えを保管しておかなければならないが、控え保管の重要性を学ぶことが出来た。

・控除の種類を学び、還付や控除を受けられる可能性を知ることができた。

▼各自、給与明細や源泉徴収票を持参して、わからなかったことを講師に教えてもらっていました。



●第12回「協働センター近隣の危ないところを知る」

ゲスト講師：山本茂之氏（長上協働センター長）／村松正利氏（災害ボランティアコーディネーター）

目標：①災害時の危ないところを知ること。

②災害時の避難場所を知ること。

▼自分の身は自分で守ることの大切さを学びました。

▼実際に協働センターの周りを歩きました…一列になり、交通ルーツも守っています。

▼「ここがひなんち」…日本語を読む練習です。

▼浜松市「防災ほっとめーる」の登録に挑戦しました…大変でした（課題あり）

▼「どこに売っていますか」

…防災グッズを手にとり、使い方を学びました。売っている店を知りたいという生徒たちの様子です。

▼湯わかしボックス

…学習者たちは取り扱い説明書が読めません。コーディネータ(女性)は細かい説明書が苦手です。

そこで活躍したのは男性ボランティアさんたちです。

課題：浜松市「防災ほっとめーる」は登録すると、自宅付近の緊急情報をメールで得ることができる。メールは多言語化されており、英語もある。(フィリピン人は英語が分かる人が多い)そこで、授業においてこの登録を実践した。「自宅で登録しておくように」と言っても、忘れてしまったり、面倒だと感じて取り組まない学習者がいるかもしれないので)ところが肝心が言語選択に至るまでの設問が日本語で書かれており、登録をすることが難しかった。このことに対して改善を求めることを浜松市に報告として挙げた。



●第13回「協働センター近隣の防災マップをつくる」

目標:①災害時の危ないところを知ること。
②災害時の避難場所を知ること。

▼ボランティアさんの協力を得て、一人1枚、オリジナルの防災マップをつくりました。

▼学習者たちがつくった防災マップ…自分のことばで、地図にポイントを書き留めました。

▼「大切にしてください」…日本語初級レベルの学習者たちが、2時間という短い時間で、日本語を用いたマップを作り上げました。授業後、自身が住む寮に貼ってくれた学習者もいます。



(10) 目標の達成状況・成果

- 毎回「学習チェック表」を作成し、学習者が記載して持ち帰るように促した。(学習到達度を本人が把握し、日本語学習継続の励みにするためのものであり、事務局では回収していない)
- 初回と最終回、学習者とボランティアに教室内容に関するアンケートを実施した。(本報告に別紙添付)
- このクラスの受講が、子どものクラス、出席番号、担任の名前を知るきっかけになった。子どもの教育に関心を抱くことにつながった。(第4回「浜松市の小中学校について」)
- 受講後、納税に対する意識が高まった。学習者から指導者に、「市民税を遡って納付したいので通訳をしてほしい」という依頼があった。(第11回「税金」)
- 授業を通して浜松市「防災ほっとメール」登録作業を行ったが、このときに感じた登録の不便を、意見として浜松市に報告した。(第12回「協働センター近隣の危ないところを知る」)

(11) 改善点について

- 学習者の「ひらがなカタカナを書くことを学びたい」ニーズがとても高い。実生活の中で、「ひらがなカタカナ」を書かなければならない事態はどの程度あるのか、「日本語学習の第一歩はひらがなカタカナだ」という学習者側の日本語学習に対する思い込みはないのか。日本語学習の方法について、学習者と運営側の双方が探る必要がある。文字学習は自分でも練習する時間を作らなければ上達しないので、そのことへの理解を促すことも求められる。
- 教室に核となるフィリピン人指導者やスタッフがいること、またはそういった人材から連絡があることが、学習者の教室参加へのモチベーション維持につながっている。そういうスタッフを引き続き育成しなければならない。また、その人材確保の維持も重要である。いっぽう、学習者には通訳がいる環境に関係なく、本人次第で日本語学習はできるということを伝えていかなければならない。

(1) 講座名称 バヤニハン日本語教室～みんなで地域をつくっていこう～浜北区クラス

(2) 目的・目標

日系フィリピン人が生活の中で必要不可欠となる日本語と生活の情報、知識を日本の公的機関や企業、日本人ボランティアの協力を得ながら教授し、フィリピン人と日本人の相互理解を深め、日系フィリピン人の自立を促進する

(3) 対象者 フィリピン人 日本語学習初級レベル者

(4) 開催時間数(回数) 30時間 (全13回)

(5) 使用した教材・リソース 指導者作成オリジナル教材

(6) 受講者の総数 51 人

(出身・国籍別内訳

フィリピン人 51人

(7) 日本語教室の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名	補助者名
1	平成25年9月8日(日) 14:00～16:00	2時間	浜名協働センター	13名	フィリピン人13名	自己紹介	①自己紹介で相手の言っていることが聞きとれないときの表現「すみません、もういちどお願いします」「もう少しゆっくりお願いします」を言えるようになる。	平原エテル	高井マリ
2	平成25年9月22日(日) 14:00～16:00	2時間	浜名協働センター	13名	フィリピン人13名	申込書の書き方など	①カタカナで自分の名前を書く ②申込書によく使われる用語の意味を知る。 ③窓口で何かお願いしたり、わからないことを尋ねる言い方を覚える。	平原エテル	高井マリ
3	平成25年10月13日(日) 14:00～16:00	2時間	浜名協働センター	7名	フィリピン人7名	買物	①買物でよく使う表現を学ぶ。 ②探しているものを店員に伝える。	平原エテル	高井マリ

4	平成25年10月27日(日) 14:00～16:00	2時間	浜名協働センター	13名	フィリピン人13名	レストラン	①ファーストフード店での注文の仕方を学ぶ。 ②ファーストフード店の店員の言葉を聞き取れるようになる。 ③個数を数えるときの1～10までが言えるようになる。	平原エテル	高井マリ
5	平成25年11月10日(日) 14:00～16:00	2時間	浜名協働センター	8名	フィリピン人8名	復習	①今まで学んだ字について、バランスを意識しながら書く練習 ②物の数え方や、桁の多い数字の読み方を学ぶ。	平原エテル	高井マリ
6	平成25年11月24日(日) 14:00～17:00	3時間	浜名協働センター	8名	フィリピン人8名	面接練習	①派遣会社の面接を体験する。 ②派遣会社に聞きたかったことについて尋ねる。	平原エテル／有限会社伸栄総合サービス	高井マリ
7	平成25年12月8日(日) 14:00～16:00	2時間	浜名協働センター	5名	フィリピン人5名	薬局	薬剤師に症状を伝え、症状にあった薬を買う。	平原エテル	高井マリ
8	平成25年12月22日(日) 14:00～17:00	3時間	浜名協働センター	12名	フィリピン人12名	協働センターのサークルの皆様と年賀状作成	①同協働センターでサークル活動している団体と交流を図る。 ②年賀状の文化を知る。 ③筆を使って漢字を書いてみる。	平原エテル	高井マリ
9	平成26年1月12日(日) 14:00～17:00	3時間	浜名協働センター	10名	フィリピン人10名	税金	①なぜ税金を支払う必要があるのか、「税金の使われ方」を知る。 ②確定申告の還付について知る。 ③税金について自分の給与明細の見方を講師に教えてもら	平原エテル／鈴木章記	高井マリ
10	平成26年1月19日(日) 14:00～16:00	2時間	浜名協働センター	5名	フィリピン人5名	浜松市内の小中学校について	①冷凍食品回収問題とノロウィルス対策(緊急情報)②日本の学校の行事と慣習を学ぶ。 ③保護者会での心構え・見構えを学ぶ。	平原エテル	高井マリ
11	平成26年2月2日(日) 14:00～16:00	2時間	浜名協働センター	3名	フィリピン人3名	消防	①地震、津波対策を学ぶ。 ②消火器の使い方を知る。 ③119番通報練習	平原エテル	高井マリ
12	平成26年2月23日(日) 14:00～16:00	2時間	浜名協働センター	3名	フィリピン人3名	復習②	①今まで学んだ字について、バランスを意識しながら書く練習 ②教材を振り返りながら質問に応じる。	平原エテル	—
13	平成26年3月9日(日) 14:00～17:00	3時間	浜名協働センター	10名	フィリピン人10名	子どものお弁当の作り方	保護者が栄養バランスや調理時間、方法を考えながらお弁当の作り方を学ぶ。	平原エテル／はまきた食育の会	高井マリ

(8) 受講者の募集方法

HP…当団体、公益財団法人浜松国際交流協会

一斉メール配信…浜松学院大学日本語教員養成プログラム修了生宛、U-toc多文化共生担当者連絡会議を通して市内各国際交流団体宛、NPO法人Nポケット宛、学習者・スタッフ間によるFACE BOOKクチコミ

紙配布で広報協力…浜松市内全協働センター、浜松市(国際課、市民協働課、生涯学習課)、公益財団法人浜松国際交流協会、社会福祉協議会、個人(過去協力してくれたボランティア、当団体に所属するボランティア、運営委員、自治連合会、市内小中学校の教諭・保護者・支援者、フィリピン・ブラジルレストラン、フィリピン人が多く通う教会等

(9) 特徴的な授業風景(2~3回分)

●第6回「派遣会社の面接練習」

ゲスト講師: 有限会社仲栄総合サービス(仲本サユリ様、三浦ユウジ様、山田ジルソン様)

内容

- ① 面接でよく使われる語彙の学習(バイリンガル指導者による)
受付、工場、経験、残業、給料など
- ② 仲栄さんで利用している登録面接受付表を記載する
実際には英語でも可とのことだが、学習者たちは今までのクラスでカタカナの名前、漢字の住所、また申込書フォームの記載を練習していたので、日本人ボランティアのサポートを受けながら頑張って記入した。日本式の身長、体重、服のサイズ標記についてバイリンガル指導者より補足あり。
- ③ 3グループに分かれ模擬面接
7名参加。(うち4名が面接未経験) 一人10分から20分程度。
グループごとに通訳があったが、最後まで自力で受け答えできた学習者もいた。

【面接での質問内容】

- ・一般的な情報 住所、年齢、家族構成、在住期間、学歴、日系人の場合○世か、保険加入について(社会保険に入れるか)
- ・仕事について 職歴(辞めた理由、過去の仕事内容)
勤務時間の希望(曜日、残業、夜勤、昼勤、交替制)
通勤方法(歩き、自転車、送迎)
- ・健康状態 右利き左利き、腰の持病、アレルギーの有無、通院しているか
- ・日本語力 ひらがな・カタカナレベル(読む・書く)

④ 面接官よりフィードバック

【面接で重視する点】

・『第一印象』

目線、姿勢、服装は大事である。もし、目を合わせることで緊張が高まってしまい、十分に自己PRが出来そうになければ、面接官の喉元あたりを見るのもよい。

・『アピール力』

「仕事をしたい」「経験はないけどやってみたい」「前職場では欠勤は無かった」など、日本語が十分話せなくても、やる気をアピールすることが大事。面接官としては、アピール上手の人のほうが記憶に残る。

・『日本語力』

日本語力に応じた仕事がある。必ずしも日本語レベルは高くなくても大丈夫だが、正直に言うとゼロでは紹介が難しい。読み書きはできないけどよく話せる、かなは全部読める、ひらがなは書けるなど、一つ長所があるといい。日本語力は仕事だけでなく、生活していく上でも必要なものなので勉強したほうがよい。

・『前の職場の辞め方、辞めた理由、勤務期間』

短期間に職場を変えているのはイメージが悪い。辞めた理由を明確に説明できるようにしておくこと。就職した後、他にいい条件の仕事が出る場合もある。難しい選択になることもあるが、最終的には真面目に誠意をもって決断することが信用を得ることになる。辞め方はとても大事で、迷惑をかける

ような辞め方(予告なく、急にやめたなど)は、次の仕事を紹介するときに響く。まじめな人のほうが仕事を紹介しやすく、それは「まじめな人はチャンスが多い」という意味でもある。

・『話の信憑性があるかどうか』

家族構成(特に子供の年齢、世話をする人の有無など)や健康状態などは細かく質問する。その人に合った長く働ける職場を紹介するためなので、「どう答えたら正解か」というものではない。決して嘘はつかないこと。

・面接の服装について

スーツでなくてもいいが、落ち着いた色、デザインのもの。女性の場合、ミニスカート、ブーツなどは避ける。また、そのまま会社へ紹介されることもあるので、スリッパ、サンダルは不可。

・通訳について

日本語力に自信がなければ、よく話せる知り合いを連れて行ってもいい。会社によってはそこで既に働いている社員の中で同じ国の人がサポートしてくれる場合もある。

【学習者からの質問と、ゲスト講師のご回答】

Q:なぜ、利き腕を聞くのですか。

A:ラインの仕事の場合、工程の流れがあり、流れの向きと利き腕が合えば、仕事を紹介できます。いっばう合わなければ、別の派遣先を紹介するためです。

Q:「日系人ですか。」「何世ですか。」と聞くのは、どうしてですか。

A:ビザ申請時に必ず必要な情報となります。残念ながら、面接時に嘘をつく人がいます。話の信憑性があるのかどうかを確かめるためにも、質問項目に取り入れています。

Q:子どものことを、聞くのはなぜですか。

A:ふたつ理由があります。ひとつは、紹介した仕事によって、子どもを保育園に預けなければならないことがあります。当社が保育園経営をしており、子どもを預かる必要があるかどうかを知るために聞きます。もうひとつは、子どもが急に熱を出したとき、仕事を休まざるを得ないと思いますが、派遣先によっては「たびたび休まれるかもしれないので、お子さんが小さい方はご遠慮ねがいます」というところがあります。その場合には別の派遣先を紹介しなければならないので、尋ねています。

このことは紹介する仕事が少ないという意味ではなく、きちんとお子さんのことを申告しておいてもらわないと、後々ご本人も辛くなるということです。派遣先とのミスマッチを防ぐためにも必要な質問です。

Q:健康状態は、どうして聞かれますか。

A:たとえば「腰が痛くて治療中」というとき、治療のための通院頻度を聞き、仕事に影響が出ないかどうかを確かめます。また、重たいものを持つこともあるので腰の具合を尋ねておくことは必要です。喘息ならば、埃っぽい仕事とのマッチングは控えています。油を使う工場も多いですが、中には油アレルギーの方もいますので、紹介する際に気をつけています。

仕事は一日中、しかも毎日のことなので、マッチングする前に確認しておく必要があります。大事なことは「入ってすぐやめてしまう」ということを少しでも回避することです。その人に合った会社を紹介し、安定して長く働いてもらうことを重視しています。長く働くことはキャリアアップにもつながりますし、万が一、次の仕事を探す場合でも、前職は短いよりも長いほうが信用してもらいやすいです。もし、同じ職場に戻りたいと思った場合でも、職歴が短いと戻るといふ方向での紹介が難しくなります。

これらの理由から、当社を訪ねて来たときの最初の面接で得る情報収集は、後々にも大事なものになります。

Q:仲本さん、三浦さん、山田さんが「仕事がつらいな」と思ったとき、どうやってストレス発散したり、気持ちを維持してきましたか。

A:目標や夢を持ち、それに向かっていこうとしたら続けられます。目標をもつと、その目標に向かってどうしたらいいかというプランが、自分の中で明確になってきます。辛いけれど、それに負けないくらいの気持ちを強く持つことができます。

たとえば、私たち外国人は「いつか、国へ帰りたい」ということをよく言います。「国へ帰って、何をしたいか」の「何」にあたるものを持って日本で働いてきた人は、実際に国に戻っても成功している人が多いです。家も持って家族を養っていたり、会社を経営したりしています。いっばう日本で家を建てたブラジル人もたくさんいます。出世の真意は、自分の幸せをつかむということだと思います。

また、たまには買物などを楽しんでいきます。ストレス発散をすることも大事なことです。

▼模擬面接練習の様子

▼講師3人は学習者たちと年齢が近いブラジルの方でした。日本での生活や仕事で辛いとき、助けになるのは「夢を持つこと」だと話してくれました。



●第8回「日本の正月・年賀状を書く」

ゲスト:浜名協働センターで活動しているサークルの皆様(細筆の会、絵手紙の会、太極拳の会)と交流、体験をしました。

▼浜名細筆同好会…初めて、筆で字を書きました。

▼絵手紙同好会…イラストとともに日本語で一言添えました。

▼馬年…昔の文字やイラスト、いろいろな馬が仕上がりました。



●第9回「税金(扶養控除申告書の書き方、源泉徴収票の見方、確定申告のやりかた)」

目標:給与明細書や源泉徴収票、扶養控除申告書などのレアリアを用いて、用語と記載方法を学ぶこと。

●第10回「学校の年間行事を知る／保護者会に参加する際の注意点、挨拶や自己紹介の仕方」

目標:①学校の年間行事を知ること。(学校から配布されるプリントを読めるようになる)

②保護者会に出席したとき、先生や保護者間での自己紹介を学ぶこと。

③保護者会に出席する意味、心構え、身構えを知ること。

【浜松市内小中学校において通訳、支援をしている人からポイント】

・『入学式』…春なので、明るめの色のフォーマルウェアがオススメ。

・『避難訓練』…新1年生の保護者は、入学後すぐに行われる初回、避難訓練に参加すること。災害時の子どもの引渡し方法について、学校から説明を受けるため。

・『体力テスト』…フィリピンにはないので、保護者や子どもに説明が必要。

・『運動会』…宗教上の理由、または日曜日は宗教活動があるので参加できないという家庭がある。このことについては保護者に説明が必要。子どもは運動会の日のために一生懸命、学校で練習してきている。また、お弁当も家族そろって食べるが、家族が来てくれない子どもは一人で食べることになり、寂しい思いをする。絶対に見に行ってあげてほしい。

・『就学時健康診断』…入学前の年の10月に行う健康診断のこと。また小6はこの健診の手伝いをする。小6児童が学校から「就学時健康診断」の手紙をもらってきたら、これは自分の子どもが受診するのではなく、「健診の手伝いをするので帰宅が遅くなります」という意味。手伝う目的は上級生が下級生の面倒を看るといふもの。

・『学習発表会』…フィリピンにはない。1年の学びの成果なので、ぜひ保護者は見に行ってあげて。また、親戚や友人を連れて行ってもよい。

・『授業参観会』…子どもは「恥ずかしいから来ないで」と言うが、本心は「絶対に来て欲しい」と思っている。当日は自分の親がどこにいるか探している。親は都合をつけて参加したほうがよい。

・『個別面談、三者面談』…個別面談＝二者面談

子どもには聞かれたくない話の時には、保護者と教師のみで行われる。二者面談は特別な場合であり、あまり好ましくない内容のとき。二者面談にならないように。

・『懇談会、保護者会』…保護者会では必ず自己紹介がある。また、遅れた保護者がいるときには全員で待ってくれる。よって遅刻・欠席は厳禁。また、外国人の親の場合、「話がわからないから」という理由で、無断で先に帰ってしまう方がいる。その場合、先生は安全上の問題から、その保護者がどこへ行ったのか探すことになる。理由があつて帰らなければならないときは必ず「お先に失礼します」と挨拶して帰ること。

・『PTA総会』…フィリピンにもあるけれど、あまり機能していないので理解・説明を求める必要がある。

・『遠足、林間学校、修学旅行』…林間学校は初めての宿泊であり、言葉が通じない不安からほとんどの子どもが嫌がる。まずは保護者に理解を求めて、保護者とともに生徒を説得する必要がある。

・『歯科検診』…外国人の場合「歯医者」という言葉はわかるけれど「歯科」という言葉は耳慣れていないので、わかりにくいようである。

・『家庭訪問』…先生が日本語で声をかけると玄関に出来てきてくれない保護者がいる。その後、支援員がタガログ語で呼びかけると玄関に出てくる。最初から出てきて欲しい。訪問は玄関先で2分程度。部屋の中に入ることはまずない。お菓子、お茶を出す必要はない。先生も一日に何件ものお宅を回るので、トイレに行きたくなったら困るので。

・『資源物回収』…小さなものなら子どもに持たせてもよいが、基本的には保護者が参加したほうがよい。

・『尿検査』…日ごろから「健康のために」という理由で、子どもにビタミン剤やビタミンCが入った飲み物を飲ませる親がいる。尿検査の前日は控えたほうがよい。

・『ぎょう虫検査』…万が一、欠席する場合は親が代わりに学校へ持っていくこと。

・『内科健診』…学校の健診は受診したほうがよい。学校の健診で持病が見つかるケースがある。(実際にそういったケースがあった)

・『眼科健診』…子どもの視力は低下しやすい。度数のチェックは勉強に関わることなので必要な検査である。

・『身体測定』…肥満については、学校から指示が入る。また、身長があまり伸びない子どもはホルモンバランスを疑う必要があるので、身体検査も重要項目のひとつ。頻繁に行われる。

・『離任式』…一学年が終わると一時帰国する家族がいる。離任式までが一年の行事なので、参加できない場合は必ず学校に連絡を入れること。

【ロールプレイを通して、保護者会での挨拶練習】

こんにちは。●●(子どもの名前、フルネーム)の母です。◆◆(町名)に住んでいます。フィリピンから来ました。どうぞ、よろしくおねがいします。

①子どものフルネームを入れる。

②集まっているお母さんたちは、同じ校区なので「町名」を言うこと。

③外国人のお母さんたちは顔立ちで国籍を判断されやすいので、自分から先に国籍を言ったほうがよい。

●第13回「日本の料理体験」

ゲスト講師：はまきた食育の会

内容：日本の学校、幼稚園で、子どもに持たせるお弁当とは？栄養、食べやすさからのメニュー選びやお弁当箱への詰め方など。

経緯：ある保護者から「子どもが学校から帰ってきて、”ママ、日本人の子どものお弁当がきれいだったよ。今度作って”と言われたけれど、作れません。どうしたらいいですか」という相談があった。そこで、テーマに選んだ。

▼お弁当がきれいに見えるコツを教わります

▼おいしそうなお弁当ができました



(10) 目標の達成状況・成果

- 毎回「学習チェック表」を作成し、学習者が記載して持ち帰るように促した。(学習到達度を本人が把握するため)
- 初回と最終回、学習者とボランティアに教室内容に関するアンケートを実施した。(本報告に別紙添付)
- 授業途中より、学習者とボランティアに対して、「その日の授業」について感想を記入してもらった。(内容や、教室に対してのリクエスト、指導内容の評価等自由記入)(本報告に別紙添付)

(11) 改善点について

- 学習者の「ひらがなカタカナを書くことを学びたい」ニーズがとても高い。実生活の中で、「ひらがなカタカナ」を書かなければならない事態はどの程度あるのか、「日本語学習の第一歩はひらがなカタカナだ」という学習者側の日本語学習に対する思い込みはないのか。日本語学習の方法についても、学習者と運営側の展開を探る必要がある。文字学習は自分でも練習する時間を作らなければ上達しないので、そのことへの理解を促すことも求められる。
- 教室に核となるフィリピン人指導者やスタッフがいること、またはそういった人材から連絡があることが、学習者の教室参加へのモチベーション維持につながっている。そういうスタッフを引き続き育成しなければならない。また、その人材確保の維持も重要である。いっぽう、学習者には通訳がいる環境に関係なく、本人次第で日本語学習はできるということを伝えていかなければならない。

6. 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

- (1) 講座名称 バヤニハン日本語教室～みんなで地域をつくっていこう～人材養成
 (2) 目的・目標

学習者と地域が一体となる日本語教室を運営できるバイリンガル指導者と地域日本語教育コーディネータを育て、確立する。内容は自己研鑽できるようなものとし、活発な意見交換や、考察等を重ねていくことで、内発的に学べる構成とする。

(3) 対象者

- 1、日本滞在年数が長く、日本語能力が高い在住フィリピン人。さらに日本の文化、慣習にも理解がある者。
 2、1の当事者とともに日本語教室運営を行うことに関心のある日本人(経験者)

(4) 開催時間数(回数)30時間 (全11回)

(5) 使用した教材・リソース カリキュラム案等、講師自作プリント、講師作成パワーポイント資料

(6) 受講者の総数 35 人

(出身・国籍別内訳

フィリピン17人, 日本16人, 中国 1人, ブラジル 1人

(7) 養成・研修の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名	補助者名
1	平成25年9月30日(月) 14:00～17:00	3時間	南部協働センター	24人	フィリピン12人、中国1人、ブラジル	在住外国人とともにつくる日本語教室について	地域の方と在住外国人が共につくる日本語教室の展開について期待できることは何かを考える。	米勢治子	半場和美
2	平成25年10月15日(火) 14:00～16:00	2時間	南部協働センター	6人	フィリピン4人、日本2人	教案をつくる	学習者を知る／バイリンガル指導者の特徴やビリーフに気づく／「文化庁カリキュラム案等」を元に、グループで教案作成ができるようになる。	松本三知代	半場和美
3	平成25年10月22日(火) 14:00～16:00	2時間	南部協働センター	9人	フィリピン7人、日本2人	教材の検討	教案を参考に、使用教材を考える(グループワーク)／過去に用いた教材でよかったものを持ち寄り、検討する／教材の効果や経済性を話し合う／教材の確定をする	松本三知代	半場和美
4	平成25年10月29日(火) 14:00～	2時間	南部協働センター	9人	フィリピン7人、日本2人	模擬授業で指導の実践する	模擬授業を行い、その振り返りを行う／指導する上で不安な点を共有、質疑応答	松本三知代	半場和美
5	平成25年11月5日(火) 14:00～17:00	3時間	南部協働センター	14人	日本9人、フィリピン5人	市民協働を活かした私たちのまちの多文化共生とは？	在住外国人と日本人住民が同じまちに暮らすことに関心をもち、各自の特性を活かしながら共に地域の課題を解決するためにできることを考える。	山下文彦	半場和美
6	平成25年11月19日(火) 14:00～	3時間	南部協働センター	5人	フィリピン3人、日本2人	復習、情報共有	1～5回目の復習、共有／「文化庁カリキュラム案等」の使い方	半場和美	—
7	平成25年12月2日(月) 14:00～17:00	3時間	南部協働センター	5人	フィリピン3人、日本2人	魅力的なチラシのつくり方	この教室の特徴を盛り込んだチラシを作成するために。→視覚的に訴える写真の撮り方や選出について。	半場和美	—
8	平成25年12月3日(火) 14:00～17:00	3時間	南部協働センター	5人	フィリピン3人、日本2人	魅力的なチラシのつくり方	この教室の特徴を盛り込んだチラシを作成する／「学びたい」「ボランティアとして参加してみたい」というための呼びかけ、キーワードを考える。	半場和美	—
9	平成26年1月21日(火) 14:00～17:00	3時間	南部協働センター	15人	日本7人、フィリピン8人	静岡県在住外国人施策としての防災取組	静岡県地震防災ハンドブックやさしい日本語版とは？静岡県の在住外国人施策、とくに防災への備えについて学ぶ。	中村謙	半場和美

10	平成26年2月4日(火) 14:00～17:00	3時間	南部協働センター	7人	フィリピン5人、日本2人	地域の実情と課題を考える	在住外国人とくにフィリピン人の地域の実情と課題について、情報を共有する／行政や日本人住民との連携の現状を知り、改善点を探る	半場和美	—
11	平成25年2月24日(月) 14:00～17:00	3時間	南部協働センター	9人	フィリピン7人、日本2人	東北大震災の経験から、支援者の備えを学ぶ	東北大震災を経験した講師(日本語指導、生活支援にあたる在住フィリピン人)に、質疑応答や座談方式で話を伺う。	Kaye Doria	半場和美

(8) 受講者の募集方法

HP…当団体、公益財団法人浜松国際交流協会

一斉メール配信…浜松学院大学日本語教員養成プログラム修了生宛、U-toc多文化共生担当者連絡会議を通して市内各国際交流団体宛、NPO法人Nポケット宛、学習者・スタッフ間によるFACE BOOKクチコミ

紙配布で広報協力…浜松市内全協働センター、浜松市(国際課、市民協働課、生涯学習課)、公益財団法人浜松国際交流協会、湖西国際交流協会、社会福祉協議会、個人(過去協力してくれたボランティア、当団体に所属するボランティア、運営委員、自治連合会、市内小中学校の教諭・保護者・支援者、フィリピン・ブラジルレストラン、フィリピン人が多く通う教会等

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)

●第1回「在住外国人とともにつくる日本語教室について」

目的: 地域の方と在住外国人が共につくる日本語教室の展開について期待できることは何かを考える。

内容

①文化庁事業地域日本語教育の動向(カリキュラム案)

②バイリンガル指導者のメリット、デメリットを考える。

「参加者からメリットとしてあがったもの」…母語が話せるので、細かいところまで説明できる。／学習者が安心して学ぶことができる。

「参加者からデメリットとしてあがったもの」…母語を使いすぎると、学習者の学びが成長しない／日本語の細かいことを説明できない／発音や漢字に不安がある。

「解決方法は」…バイリンガル指導者の強みを活かしながら、いっぽうで日本人ボランティアを活用し、不安があるところは協働する。

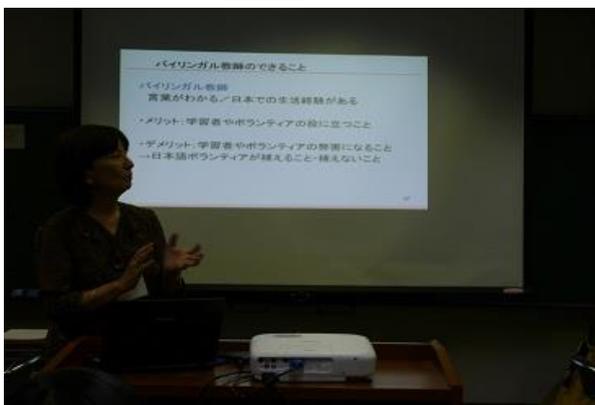
③社会的な目標としての日本語教室(ビジョン)と、そのために何をしなければならないか(ミッション)

※②③はワークショップ形式)

参加者: 日本語能力の高いフィリピン人・中国人・ブラジル人、湖西国際交流協会職員、日本語ボランティア・コーディネータ等

▼講師の米勢治子先生

▼ご夫婦で参加して下さった方もいました。(奥様:フィリピン人、ご主人:日本人)



●第2～4回「バイリンガル指導者の教え方スキルアップ」

目的:バイリンガル指導者の発掘と、養成をすること。

内容

- ①学習者を知ることと、バイリンガル指導者の強みについて考える(10月15日)
- ②教材を検討する。テーマを決定し、それに合う教材を考える。
- ③模擬授業(実践)

▼仲間と意見交換を交わしながら教材をつくりました。

▼初めて日本語を教える体験をしました。



●第5回「市民協働を活かした、わたしたちのまちの多文化共生とは」

内容:在住外国人と日本人住民が同じまちに暮らすことに関心を持ち、各自の特性を活かしながら共に地域の課題を解決するためにできることを考える。

参加者:バイリンガル指導者またはそれを目指している者、日本語ボランティア・コーディネーター、弁護士、行政書士、湖西市議会委員、浜松市教育委員会

※さまざまな分野からの参加者があり、浜松市の外国人施策への関心の高さが伺えました。

▼講師の山下文彦氏(浜松市市民部市民協働・地域政策課課長)



●第9回「多文化共生社会での防災教室の重要性とは？」

内容:静岡県では在住外国人と地域の日本人が「日本語で」地震に備えるための『地震防災ハンドブック「やさしい日本語版」』を作成した。緊急時、正しい情報を迅速に得るためには日ごろの備えと日本人とのコミュニケーションが欠かせない。そこで静岡県の在住外国人施策の視点からガイドブックの紹介、地域ぐるみの防災について考えた。

【講師より】

- ライフラインが繋がらないときには、通訳とも連絡を取ることができないことを想定している。また、災害時は通訳も被災している。→通訳に頼らないこと。
- 本当に必要で、正しい情報は日本語でしか出ない、または多言語化するのに時間がかかるのが現状である。→日本を学ぶ必要がある。
- 災害時、めまぐるしく変わる情報量の多さに通訳、翻訳が追いつかないことが想定される→翻訳・通訳がなされた頃に、また新たな情報が追加されていく。
- 大きな情報は国レベルで発信するので翻訳されやすいが、身近な情報(たとえば、「何時から水を配給します」といったもの)のほうが入手しにくい。
- 翻訳・通訳者も緊急時に関する用語は難解であり、プレッシャーがかかる。

※命に関わる情報は、自分で得るしかない。その力を日ごろからつけておくこと。

- 多文化共生社会実現には、行政だけでは難しい。
- 「やさしい日本語」は日本人にも、活用して欲しい。→外国人と地域住民の双方が使い、通じるようにしておかなければ意味がない。

▼講師の中村謙氏



●第11回「東北大震災の経験から～コミュニティリーダーの役割～」

- ①災害時、または大きな災害後、日本語を学ぶために時間を取るの難しい。けれども、被災したら日本語は必ず必要になる。平常時のうちに日本語を学び緊急事態に備えておく必要があるということ学んだ。
- ②使命感をもって支援に関わる人たちの負担が大きい。災害時を想定した場合、支援者としての心構えや身構えの点で、不安を感じることを共有し、意見・情報交換できた。

▼意見、情報交換をするバイリンガル指導者・地域日本語教育コーディネーターたち



(10) 目標の達成状況・成果

参加者に対して、アンケートの実施。(別紙参照)

(11) 改善点について

- 近隣地区で、同じ文化庁より事業委託を受けていて、人材育成事業を行っているところが多く、受講者が割れたように思う。
- 日本人とともに受講する回では、バイリンガル指導者にとって難しく感じる 때가あった。内容のフォローを改めて時間をかけて行う必要がある。
- バイリンガル指導者向けの「教え方講座」は、時間をかけてほしいという要望がある。
- 自治会との連携が難しいので、アプローチの方法を考える必要がある。

7. 日本語教育のための学習教材の作成

- (1) 教材名称 バヤニハン日本語教室2013 ～みんなで地域をつくっていこう～
 (2) 対象

静岡県西部に暮らす日本語レベルが入門、初級の「生活者としての」フィリピン人(おもに日系フィリピン人)

- (3) 目的・目標

日本語能力が入門、初級の在住フィリピン人にとって、生活上必要な日本語を厳選する。教材は、継続した学びにつながるための入り口としての意味を持つように配慮すること。

- (4) 構成・総ページ数 148ページ
 (5) 教材作成会議の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	7月1日	4	南部協働センター	中村、平原、高井、半場	6月2日、16日、30日の教材使用後の調整	浜松市の新しいゴミ制度について、使用したシェアリアの効果について
2	#####	3	南部協働センター	中村、平原、高井、半場	7月7日、8月4日、15日、29日、10月6日、20日の教材使用後の調整	お盆の内容、税金の仕組みをわかりやすく図解する資料について検討
3	11月4日	6	南部協働センター	中村、平原、高井、半場	7月7日、8月4日、15日、29日、10月6日、21日の教材使用後の調整	お盆の内容、税金の仕組みをわかりやすく図解する資料について検討
4	12月9日	3	勤労青少年ホーム	中村、平原、高井、半場	11月17日、11月10日、24日の使用教材の調整	防災マップをつくるために必要な教材について
5	#####	2	南部協働センター	中村、平原、高井、半場	12月8日の使用教材について調整	薬を買うのに必要な用語
6	1月20日	3	南部協働センター	中村、平原、高井、半場	1月12日、19日の使用教材について調整	税金に必要な用語を抜粋、学校行事に必要な用語・情報を検討
7	1月22日	4	南部協働センター	中村、平原、高井、半場	これまでの教材のまとめ	教材の提出順、見易さ、ルビや翻訳必要箇所の検討など
8	2月3日	3	南部協働センター	中村、平原、高井、半場	これまでの教材のまとめ	教材の提出順、見易さ、ルビや翻訳必要箇所の検討など
9	2月11日	3	南部協働センター	中村、平原、高井、半場	これまでの教材のまとめ	教材の提出順、見易さ、ルビや翻訳必要箇所の検討など
10	2月26日	4	南部協働センター	中村、平原、高井、半場	これまでの教材のまとめ	教材の提出順、見易さ、ルビや翻訳必要箇所の検討など

- (6) 使い方
 (7) 具体的な活用例

- 学習者が教材を保管しておけば、一部翻訳が入っているので、実生活の中で活用できる。
- 在住フィリピン人の学びたい項目の優先度を重視しているため、在住フィリピン人が学びたい内容を把握しておくことができる。

- (8) 成果物の添付 <http://filipinonagkaisa.org/text-book/>

8. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的

日系フィリピン人が生活の中で必要不可欠となる日本語と生活の情報、知識を日本の公的機関や企業、日本人ボランティアの協力を得ながら教授し、フィリピン人と日本人の相互理解を深め、日系フィリピン人の自立を促進する。

(2) 目標の達成状況・事業の成果

＜日本語教室事業＞

●母語を通して「どうして」という部分まで説明することで、文化やルール、慣習、マナー等について理解を得ることが出来た。浜松市の新しいゴミ制度が6月より施行されたが、教室の早い段階でテーマに取り上げることができた。学習者たちは教材を保存し、実生活において活用することができた。／税金の回を通して納税義務への意識が高まった。／レストランのテーマでは授業後、その日のうちに飲食店へ学習者たちが足を運んで注文の実践をした。／活動とコミュニケーションを多く取り入れた防災教室を行うことができた。初級学習者たちでも、活動の方法次第で、自分の言葉を用いて防災マップを完成できた。／実際に浜松市防災ほっとめーるの手順に従い、登録を試みたが、生徒(外国人)にとっては使いづらい箇所があった。このことを浜松市に意見として上げることができた。／面接は緊張するけれども、「なぜ、その質問をされているのか」「どういった身構え、心構えが仕事を得ることにつながるのか」などを知ることで、就労に対する意識を高めることが出来た。また、事務局としても派遣会社の情報を蓄積し、今後活かしていける材料を得ることが出来た。／面接練習でのゲスト講師は、かつて日本語学習者という立場の方だったので、学習者が講義に親近感を持てたようだ。(ロールモデルとして)／面接練習の質疑応答で、講師に「辛いときはどうしているか」という質問を投げたところ、「辛くても夢や目標を持っていれば乗り越えられた」とのことだった。こういった経験に基づいた話は、説得力があり、学習意欲を高め、継続を図るにもよい動機付けとなった。／協働センターで活動している団体と連携することができた。在住外国人の存在を知ってもらえたこと、関心を持ってもらうきっかけとなった。(年賀状を書く)／具体的に扶養控除申告書の記載方法がわかったので、知ることができてよかった(国税庁のホームページに英語さえないようなので、通訳を入れて説明できたことで、毎年末の参考になった)給与明細の見方も個別に質問したので、よく理解できた。

●人材育成

今年度の人材育成事業を通して「バイリンガル指導者の指導力研鑽」と「バイリンガル指導者と地域住民が協働すること」の2本を柱に、本事業の方向性を見出すきっかけを得た。

●教材作成

教材としての一貫性は少々乏しい面があるが、今年度の学習者の実情に沿った内容で仕上げる事が出来た。

(3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

バイリンガル指導者であっても、書かれてある内容を読みこなすのには、ある程度の日本語能力を求められた。人材育成事業ではカリキュラム案の理解が難しいところを折りに触れて紹介し、カリキュラム案の制作経緯や趣旨、使用方法などご教示いただきました。／「生活上の行為の事例」のページは、カリキュラム案の中で参考にする頻度が最も高かった。／コーディネータがカリキュラム案を熟知し、事業を導かなければ、事業の方向性が変わってしまうので、文化庁事業を熟知したコーディネータの配置は必須である。／地域における日本語教室の展開について経験や理解のある方でないと事業をリードするコーディネータや指導者を務めるのは難しい。(バイリンガル指導者の場合は自身が日本語を学んだ際のビリーフがあり、学習方法について共感を得ることが難しいときもある。)

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

<日本語教室を通して>

●在住フィリピン人が多い地区に教室を設置し、教室には地域の協働センターを利用した。教室活動の活性に各センター長の働きかけ、ご尽力によるところがとて大きい。(場所の利用、ゲスト講師依頼、学習者・ボランティア募集など)

●学習者・ボランティア募集の協力…浜松市内全協働センター、浜松市役所、近隣の国際交流協会、近隣の日本語教育団体、自治連合会等、教会、フィリピン雑貨店・レストラン等

●地元の人材派遣会社にゲスト講師をしていただいたので、当地域の在住外国人の求職情報が得られた。

●協働センターで活動しているほかの市民サークルの方と面識をもつことができた。

●学校関係者にゲスト講師を依頼したことで、学校教育と接点をもつことができた。

<人材育成事業を通して>

●ボランティア募集の協力…浜松市内全協働センター、浜松市役所、近隣の国際交流協会、近隣の日本語教育団体、自治連合会等、教室に参加してくれているボランティア等

●行政担当者にゲスト講師を依頼し、教室の趣旨と役割を見つめなおすとともに、教室活動で得たことを意見として上げ、相談することができた。

(5) 改善点、今後の課題について

●先祖が日本にルーツを持つ日系2世・3世の存在

近年、入国が増加し定住化傾向にあり、静岡県西部地区で盛んな製造業に従事するため家族、親族単位で集住している。日常生活は、工場と自宅の往復のみで日本語を使う機会は少ない。いっぽう無職の中高年齢層も目立ち、こうした人たちは日本語学習の向上率が低いため仕事に就けずにいるか、短期の仕事を繰り返し繰り返さざるを得ない状況に陥っている。いずれの人々も日本語力が乏しいので得られる生活情報が少ない等日本語会話能力の向上を図ることが喫緊の課題である。これらの人々の深刻な問題は「知らないことが多いので、わからないことや困っていることに気づいていない」ということがある。本事業において「税金」に関するテーマを扱ったところ「何の為に税を払うのか」という理解が得られ、学習者たちが市民税を払うに至った。

ところで、これらの人々は、地域の他の日本語教室で勉強をすることに結びつきにくい。理由は「母語が通じない教室へ通うことへの不安」であり、次いで「自分の生活スタイルに合った教室が少ない」「土地勘がないので、少しでも遠いと感じる教室に行くのは面倒」といった理由が目立つ。さらに「職場には通訳がおり、自宅と職場だけの往復なので日本語に困っていない」つまり言葉に対する不便さを感じていない、という声も聞かれた。けれども、滞在が長期化、高齢化すれば、生活範囲が狭く情報が閉ざされてしまう結果となり、自立して安定した生活を得る機会は遠のいてしまう。地域社会との共存を図り、情報を得るためにも、日本語を学ぶことは大切である。こうした人々に対しては、更に一歩進み手をかける必要があることが見えてきた。

●日本人配偶者と結婚した女性が呼び寄せた子どもたち(小・中学生から青年層まで)

平成24年の在留管理制度の変更と児童手当の支給が背景にあり、微増傾向にある。「在留管理制度が変わり、子どもの入国数が増えるにつれ入国審査も厳しくなっている」「日本で子どもを養育すれば児童手当が支給される」ということが通説となっており、入国数の加速に影響している。また要因として、母子が日本とフィリピンに離れて暮らす人の多くは、子どもをフィリピンの親戚やメイドに預けている。しかし近年、フィリピンでの養育者に支払う謝礼と、日本で子育てする際の養育費に大差がないことから、子どもを呼び寄せるケースが増え続けている。また預けていた親戚が高齢となり、面倒を見る人がいなくなったことも入国数の伸びに拍車をかけていることが挙げられる。その中でも学齢期を超えた子どもたちについては憂慮する点が多い。この子どもたちは日本の学校に入るための日本語と教科の学力が乏しい、両国の義務教育年数の違いから進学ができない、資金がないので学校へ通うことができない等の問題を抱えている。やがて成人し働くことを考え始める者が後を絶たないが、日本語力の低さとルール、慣習の違いから挫折してしまうこともしばしばである。

●VISAについて

この教室に通う者の多くは定住ビザを取得している。彼らはビザの申請と延長に「一条校で一年以上教育を受けていること」「日本語学習歴または日本力が問われる」という点を最も大きな痛手だと感じている。万が一ビザ延長ができなければ、それは一家が離散して暮らすことを意味している。また入管では日ごろの生活態度、すなわち納税の義務等を果たしているか、犯罪の履歴はないか、渡航履歴に嘘はないか等、一人に対して細かく審査される。このことは単に入管が厳しいと嘆くものではなく、「日本に生活する上で、日本語とまじめな生活態度は大切である」ということである。日本で生活するための日本語学習の必要性を肌で感じられる場を提供し続けることが求められている。

●近隣の日本人住民について

在住外国人が生活を営むには、日本語力だけでなく、日ごろから近隣の日本人と顔見知りになっておくことで助けになることがある。この実現のためには行政と自治体の協力が重要である。浜松市においては当事業の土壌が備わり、行政が後押しする体制が整ってきたが、市民各々に認知度を上げることは時間がかかりそうだ。また、浜松市だけでなく、その周辺地域にも集住地区があるので、開催地を再検討する必要がある。

(6) その他参考資料

●アンケート(東区クラス…初回、最終回／浜北区クラス…初回、最終回、学習者フリーコメント／人材育成…9月30日、11月5日、1月21日、2月24日)

●チラシ(東区クラス:日本語・タガログ語…学習者、ボランティア、7月21日「学校について」／浜北区クラス:日本語・タガログ語…学習者、ボランティア／人材育成…9月30日、11月5日、1月21日)



平成 25 年度文化庁委嘱事業

バイリンガル講師・日本語ボランティア養成講座 ～みんなで地域をつくっていこう～

文化庁が平成 19 年に「生活者としての外国人」のための日本語教育事業を始め、私たちも事業に関わり 7 年が経ちました。本講座を通して教室運営能力を高め、地域で活躍するバイリンガル講師とボランティアの裾野を広げていきたいと考えています。(全 10 回のうち一部公開)

第2回 多文化共生社会での防災教室の重要性とは？

静岡県では在住外国人と地域の日本人が「日本語で」地震に備えるための『地震防災ガイドブック「やさしい日本語版」』を作成しました。緊急時、正しい情報を迅速に得るためには日ごろの備えと日本人とのコミュニケーションが欠かせません。本講座では県の在住外国人施策の視点からガイドブックの紹介、地域ぐるみの防災について考えます。

日時 2014 年 1 月 21 日 (火)
午後 2:00 ~ 5:00

対象 バイリンガル講師をめざしている方、
地域の皆様 (国籍問わず)

参加費 無料

場所 南部協働センター (予定)

住所： 浜松市中区海老塚 2-25-17

申込 080-3671-8380 または filipinonagkaiya@yahoo.co.jp



《講師紹介》中村 謙 氏

平成 22 年静岡県庁入庁。多文化共生課 3 年目。これまで、日本語教室、防災、子どもの教育に関する事業等を担当。

平成 24 年に『地震防災ガイドブック「やさしい日本語版」』を作成し、県内の自主防災会や日本語教室に配付し防災講座を開催。今年度は地域日本語教室を中心に配付をすすめている。

主催：NPO法人フィリピンナガイサ



バヤニハン日本語教室 ～みんなで地域をつくっていこう～

日本人おしゃべり ボランティア大募集!!

お手伝いの内容

- ★学習者の隣に座っていただく。
- ★日本語で話しかけていただく。
- ★学習者のノートを見てあげる。

この教室では、日本滞在年数の長いフィリピン人のバイリンガル講師が、来日して間もないフィリピン人に日本語や日本文化、ルール、マナー等を教えています。そこで、学習者に寄り添ってサポートをしてくれる“おしゃべりボランティア”を募集しています。同じ地域に住む外国人と「友達の輪」を広げてみませんか。楽しくておいしい！！文化交流クッキングもあります。



期間 2013年 6月2日～11月中旬

裏面のスケジュールをご覧ください

場所 浜松市東区 長上協働センター

(旧 長上公民館)

住所：浜松市東区市野町 2620-1

★期間・場所は変更になる場合があります。事前にお問い合わせください。

★お子様連れでのご参加も可能です。

参加してどうでしたか？

—昨年度ボランティアさん
アンケートより—

- ・雰囲気明るくにぎやかで、いつも楽しい。
- ・生活に必要なことを学んでいると思う。
- ・浜松にどんな外国の人たちが住んでいるのか知ることができた。



主催：NPO法人フィリピンナガイサ

バイニハン日本語教室 長上協働センター

	日時	時間	内容
1	6月2日 (日)	13:30~15:30	オリエンテーション 自己紹介
2	6月16日 (日)	13:30~15:30	浜松市 あたらしいゴミ収集制度について
3	6月30日 (日)	13:30~15:30	買物 (値段、割引、ポイントカード、レシートの見方)
4	7月7日 (日)	13:30~15:30	日本の葬祭について
5	7月21日 (日)	13:30~16:30	ゲスト：学校関係者 学校の年間行事、夏休みの宿題について、台風が接近した場合の学校の体制
6	8月4日 (日)	13:30~15:30	レストラン注文 (メニューの見方、注文する) …授業後、実践としてレストランへ (予定)
7	9月1日 (日)	13:30~16:30	ゲスト：元警察官 交通ルール、生活安全
8	9月15日 (日)	13:30~15:30	電話のマナー (注文・予約の仕方)
9	9月29日 (日)	13:30~15:30	病院、健康に関すること
10	10月6日 (日)	13:30~15:30	復習
11	10月20日 (日)	13:30~16:30	ゲスト：社会保険労務士 給与明細の見方 (税金、保険、年金)
12	11月3日 (日)	13:30~15:30	道案内 (防災マップを作りながら、方角や施設名称などを学ぶ)
13	11月17日 (日)	13:30~16:30	ゲスト：長上協働センター所長、災害ボランティアコーディネータ養成講座修了生 修了式、防災ピクニック



バヤニハン日本語教室 ～みんなで地域をつくっていこう～

日本人おしゃべり ボランティア大募集!!

お手伝いの内容

- ★学習者の隣に座っていただく。
- ★日本語で話しかけていただく。
- ★学習者のノートを見てあげる。

この教室では、日本滞在年数の長いフィリピン人のバイリンガル講師が、来日して間もないフィリピン人に日本語や日本文化、ルール、マナー等を教えています。そこで、学習者に寄り添ってサポートをしてくれる“おしゃべりボランティア”を募集しています。同じ地域に住む外国人と「友達の輪」を広げてみませんか。楽しくておいしい！！文化交流クッキングもあります。



期間 2013年9月8日から2014年3月上旬
月2回程度日曜日午後2:00

裏面のスケジュールをご覧ください

場所 浜松市浜北区**浜名協働センター**
(旧 浜名公民館)

住所: 浜松市浜北区小松 2789

★期間・場所は変更になる場合があります。

事前にお問い合わせください。

★お子様連れでのご参加も可能です。

参加してどうでしたか?

—昨年度ボランティアさん

アンケートより—

- 雰囲気明るくにぎやかで、いつも楽しい。
- 生活に必要なことを学んでいていいと思う。
- 浜松にどんな外国の人たちが住んでいるのか知ることができた。



主催：NPO法人フィリピンナガイサ

バイニハン日本語教室 浜名協働センター

	日時	時間	内容
1	9月8日 (日)	14:00~16:00	オリエンテーション 自己紹介
2	9月22日 (日)	14:00~16:00	申込書の書き方など
3	10月13日 (日)	14:00~16:00	買物
4	10月27日 (日)	14:00~16:00	レストラン・・・授業後、実践としてレストランへ行く (予定)
5	11月10日 (日)	14:00~16:00	公共料金の支払い(コンビニ、銀行、ATM、郵便局で)
6	11月24日 (日)	14:00~17:00	ゲスト: 有限会社 伸栄総合サービス 面接練習
7	12月8日 (日)	14:00~16:00	病院、薬
8	12月22日 (日)	14:00~17:00	ゲスト:(未定) 日本の正月、年賀状を書く
9	1月12日 (日)	14:00~17:00	ゲスト: 社会保険労務士 税金(確定申告の還付について)、年金、保険
10	1月19日 (日)	14:00~16:00	学校の年間行事や保護者のマナーについて(保護者会での自己紹介や参加する注意点)
11	2月2日 (日)	14:00~16:00	ゲスト: 消防署(予定) 防災(日ごろの備え)
12	2月23日 (日)	14:00~16:00	新聞づくり
13	3月9日 (日)	11:00~14:00	ゲスト: はまきた食育の会 修了式、新聞発表、地域の方と交流会



BAYANIHAN NIHONGO CLASS

~Sama-sama nating itaguyod ang komunidad~

Ang klase na ito, nagtuturo ng Nihongo ang mga Filipino bilingual teachers sa pamamagitan ng paggamit ng mga halimbawa ng mga pangyayari sa pang-araw-araw na buhay. Sama-samang aaralin ang kultura ng Japan, mga batas at nararapat na kaugalian. Sama-sama tayong mag-aral upang magkaroon ng tiwala sa sarili sa pagsasalita ng Nihongo at matutong magbasa at magsulat sa Nihongo. Mayroong mga boluntaryong Japanese na makikipagtulungan at maaari nating maging kaibigan.

Maaaring Mag-aral

- ★Kasalukuyang naninirahan sa Japan
- ★Nihongo Basic Level
- ★Filipino

Iniimbitahan ang lahat ng nais matuto ng Nihongo!!



Bilingual teacher ang magtuturo



Mahirap pala isulat sa Kanji ang address

Petsa

June 2, 2013 - Mid-November
1:30pm -

- ★ Please check the reverse side of this paper.

Lugar

Nagakami Kyoudou center
(dating Nagakami Kouminkan)

- ★Maaaring magkaroon ng pagbabago sa oras at lugar.

Tumawag na lang po kayo sa amin.

- ★May mag-aalaga po sa mga bata.

Natutunan sa pagsali?

- Mula sa survey sa mga mag-aaral noong nakaraang taon—
- Naisusulat ko na sa Kanji ang address at pangalan.
- Natutunan ko ang paggamit ng 119.
- Nagkaroon ako ng pagkakataon na magsanay na makipag-usap sa Japanese.
- Marami akong natutunan na salita.



Suporta: Hamamatsu Firemen

ORGANIZER : N P O FILIPINO NAGKAISA

TEL 080-4308-8380 (Nihongo • Tagalog) <http://filipinonagkaisa.sitemix.jp>

BAYANIHAN NIHONGO CLASS Nagakami Kyoudo Center

	PETSA	ORAS	DETALYE
1	Hunyo 2 (Linggo)	13:30~15:30	Orientation Pagpapakilala sa Sarili
2	Hunyo 16 (Linggo)	13:30~15:30	Bagong Sistema ng Pagtatapon ng Basura sa Hamamatsu, Pagsali sa mga Aktibidad sa Komunidad (paggamas ng damo atbp)
3	Hunyo 30 (Linggo)	13:30~15:30	Pamimili (Presyo, Discount, Point Card, Pagsuri ng Resibo)
4	Hulyo 7 (Linggo)	13:30~15:30	Pag-aaral ng wastong kaugaliaan ng pakikiramay at libing sa Japan
5	Hulyo 21 (Linggo)	13:30~16:30	Guest : Kinatawan ng Paaralan Isang Taong Kaganapan sa Paaralan, Ukol sa Takdang Aralin sa Bakasyon ng Tag-init(Natsu Yasumi no Shukudai), Sistema ng Pagtugon ng Paaralan sa Panahon ng Bagyo
6	Agosto 4 (Linggo)	13:30~15:30	Pag-order sa Restaurant (Pagtingin sa Menu, Pag-order) ... Pagkatapos ng klase, magkakaroon ng aktwal na pagsubok ng pinag-aralan 「pupunta sa Sawayaka」 (plano)
7	Setyembre 1 (Linggo)	13:30~15:30	Pag-iwas sa Sakuna (Sasali sa Disaster Prevention Drill ng Komunidad matapos matutunan ang nilalaman ng booklet ukol sa Pamamaraan ng Pag-iwas sa Sakuna)
8	Setyembre 15 (Linggo)	13:30~15:30	Wastong Paraan sa Pagtawag sa Telepono (Paraan ng Pag-order • Pagkuha ng Reservation)
9	Setyembre 29 (Linggo)	13:30~16:30	Guest : Doktor Ukol sa Ospital at Kalusugan
10	Oktubre 6 (Linggo)	13:30~15:30	Pagsasanay sa Interview sa Pag-apply ng Trabaho
11	Oktubre 20 (Linggo)	13:30~16:30	Guest : Dalubhasa sa Social Insurance Tax (para sa pag-refund ng tax), Insurance, Pension
12	Nobyembre 3 (Linggo)	13:30~15:30	Gabay sa Daan
13	Nobyembre 17 (Linggo)	13:30~16:30	Patatapos ng Klase, Pakikihalubilo sa mga Dumalo Guest : Hamakita Dietary Association Pagluluto ng Japanese dish, Pangangalap ng mga Pagkaing Filipino



バヤニハン日本語教室 ～みんなで地域をつくっていこう～

この教室では、フィリピン人バイリンガル講師が「生活に密着した場面」を取り上げて、日本語を教えます。また、日本の文化、ルール、マナーなどについてもいっしょに考えます。日本語を話す自信のない方、文字の読み書きで困っている方、いっしょに勉強しましょう。教室には日本人のボランティアさんも協力してくれますので、お友だちになれるかもしれませんよ。

- 対象★**日本在住で
 ★日本語初級レベルの
 ★フィリピン人

**日本語を学びたい人
 集まれ！！**



期間 2013年6月2日から11月中旬

裏面のスケジュールをご覧ください

場所 浜松市東区 **長上協働センター** (旧 長上公民館)
 住所：浜松市東区市野町 2620-1

- ★期間・場所は変更になる場合があります。事前にお問い合わせください。
- ★お子様連れでのご参加も可能です。

参加してよかったことは？

- 昨年度受講者アンケートより —
- ・ 漢字で住所と名前が書けるようになった。
- ・ 119 番通報の仕方が分かった。
- ・ 日本人と会話の練習ができた。
- ・ ひらがなとカタカナが書けるようになった。
- ・ 新しい言葉をたくさん覚えることができた。



主催：NPO法人フィリピンナガイサ

バイニハン日本語教室 長上協働センター

	日時	時間	内容
1	6月2日 (日)	13:30~15:30	オリエンテーション 自己紹介
2	6月16日 (日)	13:30~15:30	浜松市 あたらしいゴミ収集制度と、地域の活動（草取りなど）への参加について
3	6月30日 (日)	13:30~15:30	買物（値段、割引、ポイントカード、レシートの見方）
4	7月7日 (日)	13:30~15:30	日本の葬祭について
5	7月21日 (日)	13:30~16:30	ゲスト：学校関係者 学校の年間行事、夏休みの宿題について、台風が接近した場合の学校の体制
6	8月4日 (日)	13:30~15:30	レストラン注文（メニューの見方、注文する） …授業後、実践としてレストランへ（予定）
7	9月1日 (日)	13:30~16:30	ゲスト：元警察官 交通ルール、生活安全
8	9月15日 (日)	13:30~15:30	電話のマナー（注文・予約の仕方）
9	9月29日 (日)	13:30~15:30	病院、健康に関すること
10	10月6日 (日)	13:30~15:30	復習
11	10月20日 (日)	13:30~16:30	ゲスト：社会保険労務士 給与明細の見方（税金、保険、年金）
12	11月3日 (日)	13:30~15:30	道案内（防災マップを作りながら、方角や施設名称などを学ぶ）
13	11月17日 (日)	13:30~16:30	ゲスト：長上協働センター所長、災害ボランティアコーディネータ養成講座修了生 修了式、防災ピクニック



BAYANIHAN NIHONGO CLASS ~Sama-sama nating itaguyod ang komunidad~

Ang klase na ito, nagtuturo ng Nihongo ang mga Filipino bilingual teachers sa pamamagitan ng paggamit ng mga halimbawa ng mga pangyayari sa pang-araw-araw na buhay. Sama-samang aaralin ang kultura ng Japan, mga batas at nararapat na kaugalian. Sama-sama tayong mag-aral upang magkaroon ng tiwala sa sarili sa pagsasalita ng Nihongo at matutong magbasa at magsulat sa Nihongo. Mayroong mga boluntaryong Japanese na makikipagtulungan at maaari nating maging kaibigan.

Maaaring Mag-aral

- ★Kasalukuyang naninirahan sa Japan
- ★Nihongo Basic Level
- ★Filipino

Iniiimbitahan ang lahat ng nais matuto ng Nihongo!!



Bilingual teacher ang magtuturo



Mahirap pala isulat sa Kanji ang address

Petsa

Sept 8, 2013 - Marso 2014
1:30 p.m. -

Lugar

Hamana Kyoudou Center (Kouminkan)

★Maaaring magkaroon ng pagbabago sa oras at lugar.

Tumawag na lang po kayo sa amin.



「Hajimemashite!」



Suporta : Hamamatsu Firemen

Natutunan sa pagsali?

—Mula sa survey sa mga mag-aaral noong nakaraang taon—

- Naisusulat ko na sa Kanji ang address at pangalan.
- Natutunan ko ang paggamit ng 119.
- Nagkaroon ako ng pagkakataon na magsanay na makipag-usap sa Japanese.
- Marami akong natutunan na salita.

ORGANIZER : N P O FILIPINO NAGKAISA

TEL 080-4308-8380 (Nihongo • Tagalog) <http://filipinonagkaisa.sitemix.jp>



平成 25 年度文化庁委嘱事業

バヤニハン日本語教室 ～みんなで地域をつくっていこう～

この教室では、フィリピン人バイリンガル講師が「生活に密着した場面」を取り上げて、日本語を教えます。また、日本の文化、ルール、マナーなどについてもいっしょに考えます。日本語を話す自信のない方、文字の読み書きで困っている方、いっしょに勉強しましょう。教室には日本人のボランティアさんも協力してくれますので、お友だちになれるかもしれませんよ。

- 対象★**日本在住で
 ★日本語初級レベルの
 ★フィリピン人

**日本語を学びたい人
集まれ！！**



バイリンガル講師が教えます



漢字で住所を書くのは難しいね

期間 2013年9月8日から2014年3月上旬
月2回程度日曜日 午後2:00より

裏面のスケジュールをご覧ください

場所 浜北区 浜名協働センター

- ★期間・場所は変更になる場合があります。事前にお問い合わせください。
- ★お子様連れでのご参加も可能です。

参加してよかったことは？

- 昨年度受講者アンケートより
- ・漢字で住所と名前が書けるようになった。
- ・119番通報の仕方が分かった。
- ・日本人と会話の練習ができた。
- ・ひらがなとカタカナが書けるようになった。
- ・新しい言葉をたくさん覚えることができた。



「はじめまして！」



協力：浜松市消防局

主催：NPO法人フィリピンナガイサ

バイニハン日本語教室 浜名協働センター

	日時	時間	内容
1	9月8日 (日)	14:00~16:00	オリエンテーション 自己紹介
2	9月22日 (日)	14:00~16:00	申込書の書き方など
3	10月13日 (日)	14:00~16:00	買物
4	10月27日 (日)	14:00~16:00	レストラン・・・授業後、実践としてレストランへ行く (予定)
5	11月10日 (日)	14:00~16:00	公共料金の支払い(コンビニ、銀行、ATM、郵便局で)
6	11月24日 (日)	14:00~17:00	ゲスト：有限会社 伸栄総合サービス 面接練習
7	12月8日 (日)	14:00~16:00	病院、薬
8	12月22日 (日)	14:00~17:00	ゲスト：(未定) 日本の正月、年賀状を書く
9	1月12日 (日)	14:00~17:00	ゲスト：社会保険労務士 税金(確定申告の還付について)、年金、保険
10	1月19日 (日)	14:00~16:00	学校の年間行事や保護者のマナーについて(保護者会での自己紹介や参加する注意点)
11	2月2日 (日)	14:00~16:00	ゲスト：消防署(予定) 防災(日ごろの備え)
12	2月23日 (日)	14:00~16:00	新聞づくり
13	3月9日 (日)	11:00~14:00	ゲスト：はまきた食育の会 修了式、新聞発表、地域の方と交流会



平成 25 年度文化庁委嘱事業

バイリンガル講師・日本語ボランティア養成講座 ～みんなで地域をつくっていこう～

文化庁が平成 19 年に「生活者としての外国人」のための日本語教育事業を始め、私たちも事業に関わり 7 年が経ちました。本講座を通して教室運営能力を高め、地域で活躍するバイリンガル講師とボランティアの裾野を広げていきたいと考えています。（全 10 回のうち一部公開）

第 1 回 在住外国人と共につくる日本語教室について

バヤニハン日本語教室は、フィリピン人のバイリンガル講師が、母国語を交えて日本語や生活習慣、文化、情報を同胞に教える教室です。これまで多くの日本人ボランティアをはじめ行政や企業にも支えられてきました。地域の方と在住外国人が共につくる日本語教室ではどんな展開が期待できるでしょうか。一緒に考えてみませんか？

日時 2013 年 9 月 30 日（月）
午後 2:00 ～ 5:00

対象 バイリンガル講師をめざしている方、
地域の皆様（国籍問わず）

参加費 無料

場所 浜松市中区 南部協働センター

申込 080-3671-8380 または filipinonagkaiya@yahoo.co.jp



《講師紹介》 よねせはるこ 米勢治子氏

文化庁地域日本語教育コーディネーター研修講師



東海日本語ネットワーク副代表、元浜松学院大学特任教授（日本語教員養成プログラム担当）。1985 年より国際交流ボランティアの活動および帰国生の支援活動を始め、89 年より地域の日本語教室で活動。同時に、民間日本語教育機関および大学、国際交流協会などで、日本語教育、日本語教師養成ならびに日本語ボランティア養成・研修、日本人の日本語コミュニケーション能力養成などに関わる。対話と協働による多文化共生の地域づくりをめざす地域日本語教育のあり方を発信している。

主催：NPO 法人フィリピンナガイサ

以下の3回を公開講座としています。

どなたでもご参加いただけます。ふるってご参加ください。

	講師	内容
9月30日(月)	米勢治子氏 (東海日本語ネットワーク)	1、文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業の概要 2、地域日本語教室について(バイリンガル講師と日本人ボランティアが協働する日本語教室の展望)
11月5日(火)	山下文彦氏 (浜松市市民部 市民協働・地域政策課 課長)	「地域一体の日本語教室を目指して」 →浜松市がめざす“市民協働”とはなにか。 →多文化共生の視点から市民協働を考える
1月21日(火)	中村謙氏 (静岡県多文化共生室)	在住外国人のための防災教室の意義と重要性(静岡県での取り組みを知り、同胞に日ごろの備えや防災情報を伝えるために)

開催場所：南部協働センター(予定)

時間：いずれも14:00~17:00(予定)

対象：①本事業に関わるバイリンガル講師、通訳、コーディネーター
②バイリンガル講師を目指す人
③地域住民(個別チラシ作成中)
※いずれも国籍問わず

参加費：無料

申し込み：080-3671-8380 または filipinonagkaisa@yahoo.co.jp



平成 25 年度文化庁委嘱事業

バイリンガル講師・日本語ボランティア養成講座 ～みんなで地域をつくっていこう～

文化庁が平成 19 年に「生活者としての外国人」のための日本語教育事業を始め、私たちも事業に関わり 7 年が経ちました。本講座を通して教室運営能力を高め、地域で活躍するバイリンガル講師とボランティアの裾野を広げていきたいと考えています。（全 10 回のうち一部公開）

第 2 回 市民協働を活かした、私たちのまちの多文化共生とは？

「市民協働」という言葉を聞いたことがありますか。在住外国人と地域の方が、多文化共生社会の中で暮らすことに関心を持ち、各自の特性を活かしながら、市民協働につながる方法を考えてみたいと思います。「同胞の役に立ちたい」「浜松が大好き」「外国人と友だちになりたい」など、さまざまな思いを市民協働の第一歩として踏み出しましょう。

日時 2013 年 11 月 5 日 (火)
午後 2:00 ～ 5:00

対象 バイリンガル講師をめざしている方、
地域の皆様（国籍問わず）

参加費 無料

場所 アイミティ浜松

浜松市中区船越町 11-11

申込 080-3671-8380 または filipinonagkaiya@yahoo.co.jp



《講師紹介》 山下文彦 氏 浜松市市民部市民協働・地域政策課課長

平成 25 年 4 月から浜松市市民部市民協働・地域政策課に所属。市民協働・地域政策課では、NPO 法人の認証、市民協働の推進、自治会関連、区役所関連、中山間地域の施策等の業務を行っている。なお、平成 6 年度～8 年度には、国際交流協会（HICE）に配属、平成 23 年度・24 年度には国際課の配属となり、多文化共生の推進に関わってきた。

主催：NPO 法人フィリピンナガイサ

次回 予告

バイリンガル講師・日本語ボランティア養成講座

～みんなで地域をつくっていこう～

講師	内容
中村 謙 氏 (静岡県 多文化共生室)	在住外国人のための防災教室の意義と重要性 (静岡県での取り組みを知り、日ごろの備えや防災情報を地域の人たちと共有するために)

日 時：平成 26 年 1 月 21 日（火） 14:00～17:00

場 所：南部協働センター

対 象：①本事業に関わるバイリンガル講師、通訳、コーディネーター

②バイリンガル講師を目指す人

③地域の方

※②③は、いずれも国籍問わず



平成 25 年度文化庁委嘱事業

バイニハン日本語教室 ～みんなで地域をつくっていこう～

日本の小学校って、どんなところ？



先生との連絡、どうしたらいい？

学校からの緊急メール、読めないな……。

もうすぐ夏休み、毎日
どうすればいいんだろう。



学校の先生と
いっしょに、話してみませんか！



先生たちは、こんなことを
考えているんだ！
親として、できることは
なんだろう。



日時 2013年 7月 21日 (日)

午後 1:30 ~ 4:30

場所 浜松市東区 長上協働センター

住所：浜松市東区市野町 2617

講師 澤田直子先生 浜松市教育委員会教育相談支援センター

持ち物 夏休みの宿題がある人はお持ちください

申込 下記までどうぞ

主催：NPO法人フィリピンナガイサ

TEL 080-4308-8380 (タガログ語) 070-6411-7514 (日本語)

<http://filipinonagkaisa.sitemix.jp/>

アンケート

以下、さしつかえのない範囲でご回答をお願いします。英語・タガログ語でもいいです

出席 15 名・回答 11 名

① この講座をどこで知りましたか。□にレ (チェック) をお願いします。

チラシ (チラシをもらった場所: 協働センター…… 2
(チラシを見た場所:

クチコミ (どなたのご紹介ですか: ナガイサスタッフから…… 5

その他 (ナガイサスタッフ自身…… 4

② この講座に参加しようと思ったきっかけ、理由があればお聞かせください。

- ・日本語教室の参考に
- ・災害の時の対応が知りたかったからです。
- ・今度、湖西市の多文化共生の会議の時に発表したいと思います。
- ・地震が来た時に、何をするか知りたいです。
- ・災害・防災に関する認識付けを高めるため
- ・主にはコミュニケーションを円滑に、お互いの尊重ができるのを目的に参加しました。一見？バイリンガルに関してなのであまり興味関心を持たず、そんなのは？という人が多いと思うのですが、私は違った観点からも大いに学ぶことがあると思い参加しました。
- ・聞いた情報や知ったことを近くに住んでいるフィリピン人や知っている外国人にも教えてあげて役に立つことができるといいなと思いました。
- ・地域の中で日本語教室が果たす役目について考えるため。

③ 今日の講座の内容はどうでしたか。

よかった 11 (理由:

- ・防災をやさしく特化してくれたのが良い
- ・分かりやすかった…… 2
- ・先生の教え方、言葉もやさしい日本語を使っていたから
- ・最低限度の日本語で伝達することの大切さが今一度理解できた。今後日本人に対しても分かりやすく説明する工夫を求めることも必要と感じた。
- ・震災のVTRも見たのですが現実合ったことの撮影で現実を受け止めることを改めて考えさせられ、身が引き締まる思いです。
- ・県の「やさしい日本語」で災害に備えるという決意を感じた。
- ・やさしい日本語を特に日本人に広く周知することが大事なのではないかと思った。日本人の支援者、ナガイサの日本語教室のゲスト講師にも必要なスキルだと思う。

- ・改めて防災教室は生命を守るために必要な日本語教室のトピックだと感じた。
- ・外国人向けの講座だけでなく、近隣の日本人住民に対しても発信したり、一緒に考えたりできるような役目も担っていく活動の可能性、広がりを感じました。

あまりよくなかった

りゆう
(理由：

④ フィリピンナガイサの日本語教室では「生活に密着した内容」をテーマに授業をしています。とりあげてほしいテーマや案がありましたら、お聞かせください。

・多国籍の方にも多く参加と、日本人にも溶け込めるテーマと内容がやはりよいと思います。例を挙げますと、コミュニケーションの取り方をテーマにすると、多くの人が悩んだり困ったりしていると思いますので、「誰にでもやさしいコミュニケーション術」をテーマにするのはどうでしょうか。

・日本語の会話を勉強したいです。

⑤ フィリピンの方に質問します。以下、レ (チェック) をつけてください。

男 女…… 5

10代 20代 30代 40代 50歳以上

●バイリンガル講師をしたことがありますか (はい・ いいえ)

●バイリンガル講師をしてみたいと思いますか。 (はい・ いいえ)

●もしバイリンガル講師をする場合、不安や疑問があれば教えてください。

⑥ 日本の方に質問します。以下、 にレ (チェック) をつけてください。

男…… 3 女…… 3

10代 20代 30代 40代 50歳以上

●日本語教室でボランティアをしたことがありますか。 (はい・ いいえ)

●ふだん、おもに何をしていますか。

(仕事・ 日本語教育関係・ 学校等で子どもの教科学習支援・ その他)

⑦ その他、ご自由にお書きください。

(フィリピンナガイサへご要望など、なんでもかまいません。)

ご協力ありがとうございました。

Salamat po.

アンケート

以下、さしつかえのない^{ほんい}範囲^{かいどう}でご回答^かをお願いします。タガログ語も可。

回答者：24 名/出席者 24 名

① この講座^{こうざ}をどこで知りましたか。□に (チェック) をお願いします。

チラシ 3

(チラシをもらった場所：湖西国際交流協会 1、HICE ファシリテータ養成講座 1)

(チラシを見た場所：

クチコミ 1 1

(どなたのご紹介^{しょうかい}ですか：平原エテルさん 2、半場和美さん 2、山浦優子さん 1、中村グレイスさん 2、湖西国際交流協会小林さん 1)

その他^た 9 (フィリピンナガイサ 3、フィリピンナガイサからのメール 1、湖西国際交流協会 3)

② この講座^{さんか}に参加しようと思ったきっかけ、理由^{りゆう}があればお聞かせください。

- ・ 私は外国人ですが、日本人といっしょに助け合いたいと思っているから。
- ・ 友人に誘われたから。(2)
- ・ 日本語教師として、具体的にやるべきことを知りたかったから。
- ・ 勉強にしたいと思ったから。(2)
- ・ 外国人に日本を理解してもらえる手法、情報をつかめればと思ったから。
- ・ 講師のお話を聞きたかったから。
- ・ 情報を高めることと、地域社会をつくるためのきっかけづくりを知りたかったから。
- ・ 自分と同じ、ボランティアの方のお話を聞きたかったから。
- ・ 講座を通してヒントを得たいと思ったから。
- ・ 自分の知識を増やすためと、それを活かしてがんばるため。
- ・ いろいろな人と交流をしたかったから。
- ・ グレイスさんが勧めてくれたから。
- ・ 知人に誘われたから。

③ 今日の講座の内容はどうでしたか。

よかった ^{りゅう}24 (理由 :

- ・ お互いにお互いのことを知る、知らせる努力が必要だという考えで今後もやっていきたいと思ったから。
- ・ バイリンガル講師のメリットとデメリットがわかった。日本語教室をつくるためにはビジョンとミッションを考えないといけないと思った。
- ・ ダーリンさんと知り合えたこと。
- ・ 新しいことを覚えて、とてもよかった。本当に勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ バイリンガル講師のことをいろいろ勉強しただけでなく、日本人と外国人の交流もできました。
- ・ いろいろな人と知り合えたことと、外国の人の気持ちが少しわかったこと。
- ・ 積極的に日本社会に溶け込もうとしているフィリピン人が多いのに、驚いた。
- ・ 勉強になりました。(3)
- ・ 「自立とは、一人でできるようになることでなく、わからないときに聞ける選択肢が増えることだ」というお話が印象に残った。そういうクラス作りを目指し、地域社会に還元していきたい。
- ・ バヤニハン日本語教室の内容、成り立ちが文化庁のガイドラインにどのように沿っているのか再確認できた。
- ・ たくさんの人と知り合えた。(特に、バイリンガル志望者)
- ・ バヤニハン教室の意義が、実生活に基づいた体験の重要性であることが、よくわかった。
- ・ 知らなかった情報を知りました。参加者のいろいろな経験を聞いて、感心しました。
- ・ バイリンガル講師は「教える」ことにとらわれず、「補助」の気持ちも大切。
- ・ 日本語教室でバイリンガルや母語のできる経験者をスタッフにすることの大切さもわかりました。
- ・ イベントの企画や考え方にも参考になりました。
- ・ たくさんの人と交流できたこと。
- ・ 標準的なカリキュラム案があることを知ったこと。
- ・ 地域日本語教育のあり方の具体例をみんなで勉強できたから。
- ・ 自立の話がよかった。
- ・ 内容は役に立ってよかったのですが、ただ外国人には少し難しかったです。

あまりよくなかった

^{りゅう}(理由 :

④ フィリピンナガイサの日本語教室では「生活に密着した内容」をテーマに授業をしています。とりあげてほしいテーマや案がありましたら、お聞かせください。

- ・ バス乗り場
- ・ ゴミの分別について（資源ごみを含む）

⑤ フィリピンの方に質問します。以下、（チェック）をつけてください。

男 女 **12**

10代 20代 30代… **5** 40代… **5** 50歳以上… **2**

- バイリンガル講師をしたことがありますか（ はい… **7** ・ いいえ… **4**）
- バイリンガル講師をしてみたいと思いますか。（ はい… **6** ・ いいえ… **3**）
- もしバイリンガル講師をする場合、不安や疑問があれば教えてください。

- ・ まだまだ日本語の語彙と漢字がわからないので、勉強しなければなりません。

⑥ 日本の方に質問します。以下、 に （チェック）をつけてください。

男 **4** 女 **7**

10代 20代 30代… **3** 40代… **3** 50歳以上… **5**

- 日本語教室でボランティアをしたことがありますか。（ はい **1 1** ・ いいえ **1**）
- ふだん、おもに何をしていますか。
（ 仕事… **5** ・ 日本語教育関係… **4** ・ 学校等で子どもの教科学習支援… **5** ・
 その他… **2**）

⑦ その他、ご自由にお書きください。

（フィリピンナガイサへご要望など、なんでもかまいません。）

- ・ また、プロムナイトを行ってほしい。
- ・ 講座を何度か聴講していますが、講師が授業をするときは、みんなで聞くという姿勢が一番重要でないかと思います。

ご協力ありがとうございました。

Salamat Po.

アンケート

以下、さしつかえのない範囲でご回答をお願いします。母語も可。

参加者 14 名 回答者 13 名

① この講座をどこで知りましたか。□に^{こうざ}レ (チェック) をお願いします。

チラシ (チラシをもらった場所: 4 名 前回講座会場、引佐協働センター
(チラシを見た場所:

クチコミ (どなたのご紹介ですか: 4 名
ナガイサスタッフ、浜松社協、N-pocket、H I C E、湖西国際交流協会

その他 (ナガイサスタッフ 4 名

② この講座に参加しようと思ったきっかけ、理由があればお聞かせください。

浜松市の外国人学習支援ボランティアをしているので。
チラシを丁度今日見て、興味を持った。
いろいろ勉強したいと思っているので。
外国人市民との共生に関心があった。
フィリピンナガイサの活動について理解を深めたかった。
山下課長の話を聞いたかった。
お隣浜松市の活動を勉強させていただきたかった。
市民協働についての市の方針を知りたかった。
NPO 運営に役立つ基本的な知識を深めたかった。
市民協働という言葉をよく聞くが、実際にどんなことができるのかヒントを得たかった。

③ 今日の講座の内容はどうでしたか。

よかった

(理由:

体系的な共生の考えが分かった。
浜松市の事業の一部、行政・NPOの仕組みの説明がわかった。
NPO法人について勉強になった。…… 4
市民協働について理解をした。…… 3
多文化共生を進めていくうえでの基本的理解ができた。
他団体の活動内容を聞くことができた。
いろいろなテーマの説明をきけた。
国際国流、日本語教育という視点にとらわれず、市民協働という立場から日本語教

室のあり方について学べるのは新鮮だった。

あまりよくなかった

りゆう
(理由：あまり全体像の把握まで理解できなかった。)

④ フィリピンナガイサの日本語教室では「生活に密着した内容」をテーマに授業をしています。とりあげてほしいテーマや案がありましたら、お聞かせください。

グループワークをやってみたい。

フィリピンの方たちが「教育」についてどのように考えていらっしゃるか、直接お聞きできる場があれば、と思います。

⑤ フィリピンの方に質問します。以下、 (チェック) をつけてください。

男 女 4

10代 20代 30代 2 40代 2 50歳以上

●バイリンガル講師をしたことがありますか (はい・ いいえ)

●バイリンガル講師をしてみたいと思いますか。 (はい・ いいえ)

●もしバイリンガル講師をする場合、不安や疑問があれば教えてください。

⑥ 日本の方に質問します。以下、 に (チェック) をつけてください。

男 5 女 4

10代 20代 30代 1 40代 3 50歳以上 5

●日本語教室でボランティアをしたことがありますか。 (はい・ いいえ)

●ふだん、おもに何をしていますか。

(仕事・ 日本語教育関係・ 学校等で子どもの教科学習支援・ その他)

⑦ その他、ご自由にお書きください。

(フィリピンナガイサへご要望など、なんでもかまいません。)

イベントなどを見学させていただきたい。

フィリピンの方々の母国語 (母語) 教育についての考えを聞かせていただきたい。

- ⑧ 今後、フィリピンナガイサの教室にご参加くださる方にお願ひします。ご連絡先をお
教えてください。

お 名 前: _____

メールアドレス: _____

電 話: _____

ご協力ありがとうございました。
Salamat Po.

自由記載方法で、授業後アンケートを実施。

回答は下記のとおり。

日時 2013年11月24日(日)

回数 浜北区6

内容 仕事の面接 (ゲスト：伸栄総合サービス)

- ・伸栄さんのおかげで貴重な体験ができました。ありがとうございました。いろいろ勉強しました。(学習者)
- ・ナイス！(学習者)
- ・テーマが良かったと思う(学習者)
- ・今日のトピック、とてもよかった。興味深い(学習者)
- ・面接受付表を書くのは難しかったけれど、書き方が分かってよかった。(学習者)
- ・これからいろいろ教えてください。(学習者)
- ・模擬面接を受けることができ本当に良かった。緊張したけれどたくさん学びました。
- ・面接について、いろいろ知ることができてよかった。(学習者)
- ・日本人とのコミュニケーションをもっとしたい。(学習者)
- ・フィリピン人たちにとって面接で聞かれる質問を知ることが、必要なことです。それが勉強できていいことだと思いました。個人の事情を聞きだして仕事を勧めてくれたり、長く続けられる仕事を紹介してくれて、社員のことをしっかり考えてくれました。(学習者)
- ・今日の面接を通して生徒は各自、何が大事かをつかんだと思います。真面目に働くことの大切さを学んだと思います。他の人にも伝えていってもらいたいと思います。(ボランティア)

日時 2013年12月8日(日)

回数 浜北区7

内容 病院の名前(診療科目)・薬

- ・ひらがな・カタカナを書く練習をしたい。あいうえおじゃなくて、ことばで 例 いぬ、あお、くつ、など。(学習者)
- ・ロールプレイでは新しい言葉をたくさん勉強できた。(学習者)
- ・薬の買い方、種類、わかりました。たくさん言葉を覚えました。(学習者)
- ・ひらがなとカタカナまた勉強したい。(学習者)
- ・病院と薬は大事なトピックだ(学習者)
- ・ひらがなを書く練習を、もっとしたい(学習者)
- ・日本語の文章の構造を教えてください。(学習者)
- ・日本語のセンテンスを教えてください。会話を教えてください。(学習者)
- ・薬の使用法の動詞を入れてもよかったかもしれません(塗る・貼る・うがいする)など。楽しい雰囲気の良い授業だったと思います。(ボランティア)

日時 2013年12月22日(日)

回数 浜北区8

内容 年賀状作り

- ・ いろいろな勉強をしたけれど、絵を描くことは初めての体験でした。夫と子どもと一緒に楽しみました。(学習者)
- ・ 今日のクラス楽しかった。いろんなことを勉強しました。(学習者)
- ・ 今日のクラス楽しかった。日本の文化についていろいろ知りました。(学習者)
- ・ とても楽しかった。たくさんの人と知り合って、いろいろ勉強できた。(学習者)
- ・ いろいろな日本人と知り合えてとても楽しかった。絵を描くのが楽しくて、ストレス解消になった。(学習者)
- ・ 初めて年賀状を書いて楽しかった。また次のクラスに来たい。(学習者)
- ・ このあとのテーマである「税金と保険について」勉強したい。(学習者)
- ・ 日本の文化についてもっと知りたい。(学習者)
- ・ 地域のみなさんと楽しく年賀状の作り方を勉強しました。(学習者)
- ・ また来たい。(学習者)
- ・ 年賀状楽しく作りました。皆さんと一緒につくって本当に楽しかったです。日本の正月の文化を理解しました。(学習者)

日時 2014年1月12日(日)

回数 浜北区9

内容 税金 (ゲスト黎明 鈴木先生)

- ・ 税金の還付のやり方が分かりました。(学習者)
- ・ いろいろ勉強になった。税金はどう使われているのか分かった。税金を払うのは、自分の責任だとわかった。(学習者)
- ・ 税金について分かりました。(学習者)
- ・ よかった。いろいろ分かった。(学習者)
- ・ OMOSHIROI ありがとう。(学習者)
- ・ ナイス。大事なトピック。(学習者)

日時 2014年1月19日(日)

回数 浜北区10

内容 学校の行事と保護者会

- ・ 私は子どもがいないけれど、日本の学校について勉強になりました。年間行事や先生と話するときのマナーなどが分かりました。(学習者)
- ・ とてもよかったと思います。いろいろなことを勉強できました。(学習者)
- ・ 日本で学校に行っている子どもを持つ親には、とてもよい話だと思う。(学習者)

- ・ひらがな、カタカナの練習をもっとしたい。(学習者)
- ・いいトピックだった。(学習者)

日時 2014年2月2日(日)

回数 浜北区 11

内容 119番通報のかけ方

- ・いいトピックだった。無料のチェックアップがあればいいのに。(学習者)
- ・とてもよかった。とても重要なことだった。今後も興味深いレッスンを期待している。
(学習者)
- ・よかった。いろんなことを勉強しました。(学習者)

バイニハン日本語教室（東区クラス）生徒チェック

SURVEY PARA SA MGA MAG-AARAL NG BAYANIHAN CLASS (Higashi-ku)

- ① 年齢 EDAD: 10代…1名・20代…12名・30代…2名・40代…3名・50代…0名
- ② 性別 KASARIAN: 男: 6名 女: 12名
- ③ 仕事 TRABAHO: バリ取り（縫い子）…3名、MSD…2名、工場…4名、パート…2名
会社…1名／合計 11名
なし…6名
- ④ 配偶者あり MAY-ASAWA…8名 ・ 配偶者無し WALANG ASAWA…10名
- ⑤ 日本に、何年くらい住んでいますか。 Ilang taon ka nang naninirahan sa Japan?
1年以内…3名 5年以内…5名 10年以内…6名 15年以内…3名
20年以内…0名 20年以上…0名 回答なし…1名
- ⑥ 日本で、こまっていることは何ですか。 Ano ang problema mo sa Japan?
- ⑦ ひらがなが書けますか NAKAKAPAGSULAT KA BA NG HIRAGANA?
はい OO…1名 ・ 少し KAUNTI…3名 ・ いいえ HINDI…13名
- ⑧ ひらがなが読めますか。 NAKAKABASA KA BA NG HIRAGANA ?
はい OO…2名 ・ 少し KAUNTI…3名 ・ いいえ HINDI…13名
- ⑨ カタカナが書けますか。 NAKAKAPAGSULAT KA BA NG KATAKANA?
はい OO…0名 ・ 少し KAUNTI…7名 ・ いいえ HINDI…11名
- ⑩ カタカナが読めますか。 NAKAKABASA KA BA NG KATAKANA?
はい OO…0名 ・ 少し KAUNTI…8名 ・ いいえ HINDI…10名
- ⑪ 勉強したいことは何ですか。 ANO ANG NAIS MONG PAG-ARALAN?
日常会話…13名
書くこと…6名
読むこと…4名
ひらがな…3名
カタカナ…3名
日本語全般…5名
日本文化…2名
マナー…1名 文法…1
法律（警察全般…たとえば青少年関係）…1名

ご協力ありがとうございました。 Salamat po

バイニハン日本語教室（浜北区クラス）生徒チェック 21名記入

SURVEY PARA SA MGA MAG-AARAL NG BAYANIHAN CLASS (Hamakita-ku)

① 年齢

19歳以下----- 5 20-24歳----- 5 25-29歳----- 5 30歳代----- 2
 40歳代----- 3 50歳代----- 1

② 性別 男性----- 9 女性----- 12

③ 仕事

工場勤務----- 15 通訳----- 1 主婦----- 2 無職----- 3

④ 配偶者あり 13 ・ 配偶者無し 8

⑤ 日本に、何年くらい住んでいますか。 Ilang taon ka nang naninirahan sa Japan?

1年未満----- 9 1~5年----- 6 6~10年----- 4 10年以上----- 2

⑥ 日本で、こまっていることは何ですか。 Ano ang problema mo sa Japan?

特に無し----- 9
 日本語が話せない（上手くない）----- 8
 周りとのコミュニケーション----- 3
 主婦としての生活上のいろいろ----- 1

⑦ ひらがなが書けますか NAKAKAPAGSULAT KA BA NG HIRAGANA?

はい OO 1 ・少し KAUNTI 6 ・いいえ HINDI 14

⑧ ひらがなが読めますか。 NAKAKABASA KA BA NG HIRAGANA ?

はい OO 3 ・少し KAUNTI 2 ・いいえ HINDI 16

⑨ カタカナが書けますか。 NAKAKAPAGSULAT KA BA NG KATAKANA?

はい OO 1 ・少し KAUNTI 5 ・いいえ HINDI 15

⑩ カタカナが読めますか。 NAKAKABASA KA BA NG KATAKANA?

はい OO 2 ・少し KAUNTI 2 ・いいえ HINDI 17

⑪ 勉強したいことは何ですか。 ANO ANG NAIS MONG PAG-ARALAN?

日常会話…12 書くこと…11 読むこと…11 ひらがな…3
 カタカナ…5 漢字…1 日本語全般…10 生活・文化…2

最終回アンケート（学習者用）8名提出

① このクラスを何で知りましたか。

ナガイサスタッフから 4

兄弟 1

HICE 1

母親 2

② いちばん良かった授業はなんですか？ ○をつけてください。

自己紹介 3 / ゴミ制度 4 / 買物（レシートの読み方）3 / お盆、

葬祭 3 / 学校について 2 / レストラン 4 / 自転車の

乗り方 3 / 症状を医師に言う 2 / 復習かるた 1 / 税金 6 /

防災マップ（2回計） 9

③ ②について、なぜ、それが良かったと思いますか？

全部よかった

防災の時に使える

子どもが日本の学校に通っているから

税金の勉強が良かった ----- 2

使い方や意味が分かって覚えられた

日本に住む上で大切なことだから

日本のルールやマナーがわかった

④ 今後、同じように日本語教室があったら、取り上げてほしいテーマは何ですか？

（上記以外で）

日本語会話 ----- 2

漢字と会話

カタカナとひらがなの書き方

なんでもいい

漢字

書くこと読むこと

日本の生活習慣

⑤ 日本人のボランティアさんが隣に座るレイアウトや「おしゃべりタイム」は、

どうでしたか？感想を聞かせてください。

分からない言葉を教えてくれるから助かる
正しい説明をしてくれる
いろいろ教えてくれる
書くことと会話を勉強したい
実際に話すチャンスが増えた
となりで良かった。いつでも聞くことができた。
やさしく教えてくれた。

⑥ 授業内容について

・良かった点

だいたい全部
市民税と住民税について
説明が上手で分かりやすい
住民税のことで病院のこと
ゴミ制度 交通ルール
ロールプレイ
自己紹介

・改善したほうがよいと思う点

日本語のクラスの時日本語だけの会話がいい。そうすると間違っている言葉が分かる。
特になし----- 3

⑦ フィリピンナガイサに要望はありますか？

来年も同じクラスがあるといいな
日曜日に勉強できるのがいい。
また日本語クラスをお願いします。
困っているフィリピン人を助け続けてあげてください。

ご協力ありがとうございました。Salamat Po.

平成 25 年度バヤニハン浜北区最終回アンケート（学習者用） 3名提出

① このクラスを^{なに}何で^し知りましたか。

友だちから 1 同僚から 2

② いちばん^よ良かった^{じゆぎょう}授業はなんですか？ ○をつけてください。

自己紹介 / ひらがな 2 / カタカナで名前を書く 1 / 漢字で住

所を書く 2 / 学校について / レストラン / 申込書の書き方 /

買い物 2 / 数字、値段の読み方 / 面接練習 2 / 薬の買い方 1

年賀状を書く / 税金 1 / ひらがなでクラスの感想を書く /

ロールプレイ / 日本人ボランティアとの雑談 1

③ ②について、なぜ、それが^よ良かった^{おも}と思いますか？

とても興味深くて面白いトピックだったから

毎日の生活にとっても役に立つと思うから

日本での仕事や日々の生活に大きな助けとなるから

はじめて知ったこと、勉強になったことがたくさんあったから

④ 今後、同じように日本語教室^{こんご おな}があったら、取り上げてほしいテーマ^{にほんごきょうしつ}は何^{と あ}ですか？^{なん}

もっとひらがなを勉強したい

書くこと読むこと

ひらがなとカタカナのことば

⑤ 日本人のボランティア^{にほんじん}さんが隣^{となり}に座るレイアウトや「おしゃべりタイム」は、^{すわ}

どう^{かんそう}でしたか？感想^きを聞かせてください。

いろいろ助けてくれた ----- 2

たくさん^きのことを教えてもらったのでとてもよかった。

⑥ 授業^{じゆぎょうないよう}内容について

・良かった^よ点^{てん}

テーマが興味深い
先生が良い 先生が親切
みんなフレンドリーだった
税金についての授業

かいぜん
・改善したほうがよいと思う点 てん

特になし----- 3

⑦ フィリピンナガイサにようぼう要望はありますか？

同胞のためにこういう活動を続けてください。

日本で生活するうえでとても役に立つことなので、続けてほしい。

きょうりょく
ご協力ありがとうございました。 **Salamat Po.**